

令和 2 年度

事業報告書

(自) 令和 2 年 4 月 1 日

(至) 令和 3 年 3 月 31 日

〒061-3216

北海道石狩市花川北 6 条 1 丁目 4 1 番地 1

社会福祉法人石狩市社会福祉協議会

会長 北原 益二郎

I 令和2年度事業報告総括

「地域共生社会の実現と法人経営の安定化」を基本方針に掲げた令和2年度各事業は、新年度を迎えて早々、4月12日に北海道・札幌市緊急共同宣言（札幌市内における接触機会の低減、繁華街の接客を伴う飲食店等への外出自粛、緊急事態宣言地域との往来自粛、医療提供体制の充実・強化）の発表、同月16日には政府が緊急事態宣言の対象区域を全国に拡大（北海道が「特定警戒都道府県」に指定）される等、新型コロナウイルス感染症の影響により、「人との繋がり」や「人が集う場」を重視する多くの事業が中止や縮小を余儀なくされました。

感染予防と経済活動の優劣つけ難い状況の均衡が議論される中、本会ではコロナ禍の影響で地域活動や福祉サービスが停滞せぬ様、新たな視点を有し、創意と工夫を凝らした出来る限りの事業を実施して参りました。

以下、令和2年度本会事業計画の重点項目に掲げた5部門の事業活動について総括いたします。

1. 地域福祉活動推進部門

令和2年度は、地域福祉推進の基盤である地域における「人とのつながり」が大きく制限をされた一年でありました。しかしながらその様な状況においても創意と工夫を重ね、共同作品でつながる「ささえあいアートの木」、脳トレでつながる「赤まる便り」、ICTでつながる「LINE教室」、動画でつながる「思いやりいしかり助け合いビデオ」、安心してつながる「感染対策チラシの発行」等々、つながりを絶やさない事業を展開いたしました。

また、活動先からの要請が著しく減ったボランティアセンターにおいても、自宅で出来る活動を集めた冊子を作成し広く児童中心に周知するなど、「今できることを今できる場所で」をキーワードとして新たな活動を展開いたしました。

以上の様に地域福祉活動、ボランティア活動それぞれ現状に合わせた展開しましたが、従前同様のつながりや活動には至ることにはなりませんでしたが、同時に「地域の方々はつながりや活動を切望」していることを強く実感でき、このことは今後の励みになりました。

また、町内会や高齢者クラブなどの「属性による組織」と、サロン等の「具体的活動目的による組織」では活動再開に対するリスクの取り方に大きな差があることを実感し、今後の活動展開に考慮すべき点と認識いたしました。

2. 個別支援部門

新型コロナウイルス感染対策に起因する経済活動の収縮は、企業活動から家計まで大きな影響を及ぼしました。これら課題に対し、国は様々な施策を講じましたが、「生活費」に対しては、社会福祉協議会が実施している生活福祉資金に特例を設け、より借りやすくかつ迅速な貸付で対応することといたしました。本会においても、特例貸付において想定を超える相談者となり結果3億円を超

える貸付となりました。また、貸付の内容によっては本会が受託している自立相談支援事業（生活困窮者自立支援制度）における支援プランを策定する必要も生じ、プラン作成数も実に 947%増となり、まさに激務と呼ぶにふさわしい業務となりました。

さらに、成年後見センター等権利擁護事業においても本会が後見人となる法人後見受任件数も新規契約が例年比 3 倍以上の増となるなど、高齢化に伴いニーズ増加も顕著となっております。

これら業務量が激増した個別支援部門には職員体制を強化し対応しましたが、クライアントに寄り添う伴走型支援を行うにはニーズ量に比例した体制強化が不可欠であることを再認識したところであります。

3. 在宅福祉サービス部門

新型コロナウイルス感染症は主に飛沫感染と接触感染によって感染し、3密といわれる「密閉、密集、密着」の状況下では感染リスクが高まると言われております。そのため、利用者にはマスクの着用をお願いし、通所介護事業所では「手洗いと手指消毒」、「利用者利用者との距離を確保する」など感染対策の徹底に勤めてまいりました。

また職員も内部研修や感染対策委員会を通して、正しい知識と情報を習得し、思い込みや科学的根拠のない過剰な反応を改め、感染症に対する「差別」や「偏見」を持たないよう理解に努めてまいりました。

さらに江別保健所からご指導いただいた「目の保護の徹底」や「換気」、「黙食」といった具体的な感染対策は、在宅福祉サービス部門のみならず、法人全体で共有して今後も継続してまいります。

最後に、事業所の人材・人手不足に追い打ちをかけて蔓延した新型コロナウイルス感染症は、清掃や消毒などをはじめとする感染対策に費やす業務量が増加する結果となりました。今後も専門職や介護に携わる職員の採用に向けて全力を注ぎつつも、人と人とのふれあいを大切にした利用者から喜ばれる在宅福祉サービスにも努めてまいります。

4. 法人運営部門

令和元年度より継続課題としていた役員及び評議員改選に係る選出区分等の見直しについては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、推薦依頼先の会議や活動等の状況を鑑み、次年度（令和3年度）へその検討を持ち越し、令和3年度に控える役員及び評議員改選においては現体制維持の方向で進めることとしました。

職員体制においては、令和2年度人事によって早期離職者数の減少等の一定の効果を得る事が出来た反面、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生活資金等の融資を担当する職員の長時間労働並びに職員の感染に係る対応において、これまで経験した事がない随時の判断を必要とする等、感染症に伴う労働環境の整備に対しさらなる課題を見出した一年でした。

また、法人経営面で課題と捉えていた石狩市総合保健福祉センター及び石狩市花川南老人デイサ

ービスセンター指定管理者更新において、次期指定管理者（令和3年度から令和7年度まで）として選定され、加えて一定の管理委託経費の増額が認められました。

さらに、石狩市より令和3年度から新たな事業受託が見込まれる等、職員体制面および資金面において改善の兆しを見出す事が出来たと評価します。

5. 浜益区福祉施設等5施設部門

浜益区における高齢化率は6割にせまり、介護サービスの重要性が更に高まる中、特に生産人口年齢の減少による労働力不足においては、働き方改革のもと募集要綱の内容に変更を加え、労働力の確保に努めましたが、課題解決の解消には至りませんでした。

また新型コロナウイルス感染対策については、福祉施設（事業所）については、感染症対策委員会を開催し、職員の感染予防に関する意識を高め、内部研修の開催やオンライン面会の開始等コロナ禍において必要な措置を講じ、施設内感染防止の徹底に努めました。

浜益温泉についても、利用者及び職員の検温及び施設のアルコールの消毒の徹底、更には検温チェック表にて、職員感染の防止に努めました。

II 令和2年度個別事業報告（総務課）

1. 適正かつ効率的な組織運営

(1) 新型コロナウイルス感染症予防の観点から、決議の省略による法人の意思決定を行う等、関係法令及び本会定款諸規程に基づき法人の適正な運営に努めました。

しかし、決議の省略による意思決定は、法人の定款等に定める決議要件のみに有効な手続きであり、各種報告及び協議検討等を行う事は適わず、令和2年度におけるこれら議論をはじめ各部会の開催は見送りました。

[各会議等の開催状況]

会議等	三役会議	理事会	評議員会	評議員選任解任委員会
開催回数	5回	3回	2回	1回
内決議の省略回数	0回	2回	2回	0回

(2) 法人の事務事業の透明性を確保し適正な運営を取り進めるため、内部監査を4回、委託税理士による外部監査を12回実施しました。

(3) 令和3年度に控える役員及び評議員改選期にあたり、選出団体等の検討を計画していましたが、選出団体等の会議の場も制限されている状況から体制維持に留めることとしました。

(4) 管理職で構成する、企画運営会議を12回（内オンライン2回）開催し、部門間の情報共有、課題協議等横断的な意識統一に努めました。

2. 法人経営の基盤整備

(1) 会員の拡大に向けて、日赤・共同募金事務局との連携強化を図り、社協活動の理解促進と法人会員の拡大に努めました。

[社協会費・寄付実績]

会費等種別	一般会員	法人会員	特別会員	施設会員	寄付
R02年度	16,727世帯	162法人	213名	29施設	38件
R01年度	17,288世帯	160法人	209名	25施設	70件
対前年比	96.8%	101.3%	102.0%	116.0%	54.3%

(2) 感染症予防対策に係る経費の増加（消耗品・備品等の購入）は否めず、対応する各種助成や補助金等の活用にも努めました。

3. 組織改革・人事制度改革

(1) 介護休暇や子の看護休暇の取得の奨励、並びにリフレッシュ休暇の柔軟な取得等、ライフ・ワークバランスの推進に努めました。

(2) コロナ禍の影響で増大した貸付相談等における相当の業務量に要する体制不足に対し、他部署からの応援体制及び年度途中の人事異動等を行い、職員体制不足の解消に努めました。

(3) 介護事業においては、労働環境の改善効果から早期離職者の減少にあるものの、欠員補充にあたっては応募者数が少ない現状にあり、特に浜益区の介護人材をはじめとする体制不足は否めず、事務・事業量に応じた適正な人員配置は継続課題としました。

4. 総合保健福祉センター管理運営（市指定管理）

令和2年度の石狩市総合保健福祉センターは、新型コロナウイルス感染症対策の影響から会議室の事務室化（石狩市）、ふれあいロビーの相談スペース活用等を優先し、加えて感染症予防の観点からふれあい喫茶の開設等、市民の憩いの場としての活用の制限を図りました。

また、石狩市総合保健福祉センターは、新型コロナウイルスワクチン集団接種会場となることが予定されており、施設指定管理者として管理上必要と想定出来る側面的な協力を努めました。

[会議室等利用実績]

会議室等	利 用 件 数			利 用 人 数		
	R02 年度	R01 年度	対前年比	R02 年度	R01 年度	対前年比
交流活動室	406 件	487 件	83.36%	7,950 名	15,481 名	51.35%
調理実習室	18 件	66 件	27.27%	128 名	598 名	21.40%
301 会議室	200 件	265 件	75.47%	1,643 名	3,268 名	50.27%
302 会議室	171 件	228 件	75.00%	1,454 名	2,724 名	53.37%
303 会議室	19 件	328 件	5.79%	130 名	2,972 名	4.37%
視 聴 覚 室	275 件	345 件	79.71%	4,035 名	8,539 名	47.25%
地域活動室A	171 件	247 件	69.23%	593 名	1,428 名	41.52%
福祉団体活動室	246 件	314 件	78.34%	1,481 名	3,550 名	41.71%
ふれあいロビー	22 件	79 件	27.84%	200 名	2,798 名	7.14%
3 階録音室	25 件	42 件	59.52%	98 名	254 名	38.58%
合 計	1,553 件	2,401 件	64.68%	17,712 名	41,612 名	42.56%

5. 花川北憩の家管理運営（市指定管理）

60 歳以上の石狩市民がいつでも気軽に利用できる施設としての機能を果たすため、石狩市高齢者生きがい福祉施設「花川北憩の家」の管理運営を実施しました。

[花川北憩の家利用状況]

	R02 年度	R01 年度	対前年比
開 設 日 数	268 日	289 日	92.73%
延 利 用 者 数	14,786 名	17,980 名	82.23%
1 日平均利用者数	55.17 名	62.21 名	88.68%

6. 高齢者生きがいづくり事業（市受託）

高齢者の健康づくりや新たな趣味づくりを目的に、陶芸教室並びに石狩市寿ふれあい農園を実施しました。

[陶芸教室実施状況]

	R02 年度	R01 年度	対前年比
開 設 日 数	105 日	109 日	96.33%
延 利 用 者 数	1,720 名	1,564 名	109.97%

[寿ふれあい農園実施状況]

農園名称	申 込 者 数			利 用 人 数		
	R02 年度	R01 年度	対前年比	R02 年度	R01 年度	対前年比
花畔農園	64 名	82 名	78.04%	64 名	64 名	100.00%
樽川農園	72 名	83 名	86.74%	59 名	59 名	100.00%
合 計	136 名	165 名	82.42%	123 名	123 名	100.00%

7. 自然災害対応の強化

近年多発する大規模な自然災害等に対し、行政をはじめ地域活動実践者、関係機関等との連携強化並びに必要な備蓄品等の整備に努めました。

8. 被災世帯見舞金の交付

石狩市内における被災世帯に対し、社会福祉法人石狩市社会福祉協議会災害見舞規程に基づく見舞金の交付を実施、令和2年度は2世帯に被災世帯見舞金交付実績がありました。

9. 石狩市共同募金委員会事務局

共同募金事業への協力・事務局支援をはじめ、自然災害等に係る義援金並びに支援金の受付窓口として募金の周知を行い、北海道共同募金会への送金事務を実施しました。

- ◆ 令和2年度石狩市共同募金委員会理事会等会議の開催 7回
(三役会議3回、審査委員会1回、理事会3回)

[石狩市共同募金各募金等実績]

	R02 年度	R01 年度	対前年比
赤い羽根募金実績	4,982,044 円	4,711,625 円	105.73%
歳末助けあい募金実績	2,509,803 円	2,450,185 円	102.43%
災害義援金（平成30年北海道胆振東部地震）	2,749 円	9,796 円	28.06%
支援金（令和元年台風19号災害義援金）	5,000 円	418,360 円	1.195%
災害義援金（令和2年7月豪雨災害）	155,000 円		

10. 日本赤十字社北海道支部石狩市地区事務局

人道支援団体である日本赤十字社北海道支部石狩市地区の事務局として、寄付や社資の受付、各種義援金・救援金の受付を実施しました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、各種講習会は中止といたしました。

[日赤社資・義援金等実績]

	R02 年度	R01 年度	対前年比
日赤社資実績	4,421,129 円	2,884,538 円	153.26%
災害義援金実績（東日本大震災）	54,420 円	15,605 円	348.73%
災害義援金実績（平成28年熊本地震）	50 円	360 円	13.88%
〃（平成30年7月豪雨災害）	-	6,288 円	-
〃（平成30年北海道胆振東部地震）	990 円	173,244 円	0.57%

	R02 年度	R01 年度	対前年比
” (令和元年 8 月豪雨災害)	-	10,000 円	-
” (令和元年台風 15 号災害義援金)	-	10,000 円	-
” (令和元年台風 19 号災害義援金)	39,690 円	108,251 円	36.66%
” (令和 2 年 7 月豪雨災害義援金)	104,363 円	-	-

【Ⅲ－1 地域支援関連事業】

1. 福祉情報の発信

(1) 社協広報「ふれあい」の発行

年4回市内全戸に社協広報「ふれあい」の配布を実施し、社協活動の情報開示と地域福祉活動への市民参加の必要性の啓発に努めました。

また、今年度は石狩市社会福祉大会の中止に伴い、表彰式典が開催できなかったため、2月に「広報ふれあい特別号」を発行し、被表彰者のご紹介をしました。

(2) インターネットによるタイムリーな情報発信

インターネットの効果的な情報発信に努め、ホームページはもとより、ツイッターやフェイスブックなどのSNSを利用しより親しみやすい情報を積極的に発信しました。また、SNSの投稿基準を定め身近で親しみを持って且つ法人として相応しい投稿となる様に務めました。

- ◆ ホームページ更新回数 53回
- ◆ ツイッター発信 57回（他者発信の再発信を含む）
- ◆ フェイスブック発信 56件

(3) 地域福祉壁新聞の発行

身近な地域福祉活動の啓発手段として、ホームページ等インターネットの活用と同時に、社協や地域福祉事業を紹介する壁新聞を制作し、公共施設、町内会館、市内店舗等、地域の身近な場所への掲示を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により会館使用率が低下したため、代替として「生活支援コーディネーター通信」を作成し、関係団体代表者を通じ地域住民へ配布しました。

- ◆ 発行回数 11回（5月より毎月発行、延配布部数 16,338部）

(4) 石狩りんくるプランの積極的PR

令和2年度から5か年の計画でスタートした「石狩りんくるプラン」を子どもから高齢者まで多くの市民に親しんでもらい、自分たちの計画であることを理解いただくため、各事業の要領等にその旨記載しPRに努めました。

2. 地域組織化・共助事業の推進

(1) 生活支援体制整備事業（石狩市受託）

前年度末から引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、これまで生活支援コーディネーターが推進してきた「地域住民が顔を合わせてつながること」に支障をきたし、従前の地域福祉活動を自粛・制限せざるを得ない状況となりました。そのため、コロナ禍においても「地域のつながりを切らさない」工夫した取組み（令和2年度特別事業）を提案しました。また、回数は減少しましたが、生活支援コーディネーター連携会議を開催し、厚田区及び浜益区的生活支援コーディネーター（石狩市職員）との連携強化や課題共有を図りました。

[生活支援コーディネーター活動状況（社協分）]

担当地区	訪問団体数		訪問回数		新規訪問数	
	R02 年度	R01 年度	R02 年度	R01 年度	R02 年度	R01 年度
石狩・花川北	22 ヶ所	47 ヶ所	54 回	88 回	4 ヶ所	15 ヶ所
花川南	32 ヶ所	40 ヶ所	68 回	64 回	3 ヶ所	10 ヶ所
合計	54 ヶ所	87 ヶ所	122 回	152 回	7 ヶ所	25 ヶ所

[生活支援コーディネーター連携会議の開催状況]

年 月 日	内 容	場 所	参加人数
R02.06.30	活動状況・課題共有、今後の予定について	りんくる	08 名
R02.08.04	〃	りんくる	12 名
R02.09.18	〃	りんくる	11 名
R02.12.01	〃	オンライン	10 名
R03.01.22	〃	オンライン	10 名
R03.03.03	〃	オンライン	11 名

※ 概ね月 1 回の開催として、第一層協議体開催月はそれに兼ねる。令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催頻度が減少。しかし、12 月開催時よりオンライン環境が整備されたため、Microsoft「teams」アプリを使用し開催。

[いしかり地域まるごと会議（第一層協議体）の開催状況]

年 月 日	内 容	場 所	参加人数
R02.10.09	各地域の進捗状況と生活支援サービス、買い物支援型介護予防サロン事業について	書面開催	18 名

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、書面開催とした。

(2) 介護予防・顔なじみの関係づくりにつながる通いの場の支援

① 通いの場の見える化・広報

通いの場の自粛が継続したため、これまでのように生活支援 CD が既存の通いの場への訪問による地域住民との顔なじみ関係性を保持することや地域に出向くことで知り得る情報による新たな通いの場の見える化は困難な状況となりました。また、2 層生活支援 CD が一か所の通いの場への訪問回数が限られてしまうことから、通いの場の情報（実施内容や参加者数など）や運営側の困りごとを適宜把握できるようにと作成した「活動連絡書」の提出も一部の団体のみとなりました。

◆「通いの場まっぷ web 版」掲載数 131 か所（通いの場の数：151 か所）

◆通いの場活動連絡書 依頼団体：60 団体 提出団体：26 団体 未提出団体：5 団体

※新型コロナウイルスの影響により、令和 2 年度完全休止した団体：29 団体

[通いの場等参加実績]

	開催数	男性参加延人数	女性参加延人数	合計参加延人数
通いの場	674 回	1,634 人	5,186 人	6,820 人
高齢者クラブ	346 回	1,811 人	1,308 人	3,119 人

② 通いの場の新規立ち上げ

前年度から立ち上げ支援等に取り組んできた地区において、コロナ禍ではありますが、新たに

通いの場が立ち上がりました。

- (1) いきいきふれあい体操サロン（本町地区）
- (2) いきいきサロン茶話会（花川南第一地区）
- (3) 地域コミュニティカフェ絆（花川南第二地区）
- (4) カフェクローバー（浜益区）

③ 介護予防に視点をおいた場づくり

地域住民が、介護予防・健康づくりの要素を新たな通いの場のメニュー、集まるきっかけの一つとして取り入れることを検討する動機付けとして「周知方法」や「伝え方」を工夫した働きかけを考えていましたが、コロナ禍において、その機会を設けることはできませんでした。

④ 買い物支援型介護予防サロン事業の実施（石狩市受託）

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、委託なし。

(3) ささえ合い・助け合いの仕組みづくり

① 協議体（話し合いの場）の設置・運営（地域アセスメントの実施）

いしかり地域まるごと会議（第1層協議体）は、1度のみでの書面開催となりましたが、第2層圏域における取組みの状況報告、生活支援サービスの取組み状況や実施方法の拡大、「買い物支援型介護予防サロン事業」の今後の実施方法について協議しました。

地域アセスメント（第3層協議体に類するものと認識）は、グループワーク形式とアンケート方式ともに実施することはできませんでした。

② 移動支援の仕組みの検討

生活支援CDが調整役となり、高齢者の健康と生きがいを守ることを目的とした通いの場と自宅をつなぐ移動支援の仕組みの構築を目指し、札幌運輸支局、市内公共交通関係事業者（ダイコク交通(株)、北海道中央バス石狩営業所）との調整を実施しました。

厚田区では「厚田地域交通サービス検討委員会」での今後の移動支援に向けての協議に委員として第1層生活支援CDが参加しております。

③ 生活支援の仕組みの検討

日常生活において、電球・蛍光灯交換や除雪などちょっとしたお手伝いが必要な方の生活支援を地域住民同士で実施するささえ合いの仕組みを地区社協や町内会、高齢者クラブ等に財政支援として補助金の交付も含めて提案しました。

コロナ禍ではありましたが、令和元年度より地域アセスメントを実施し、立ち上げの検討を継続してきた「ライラック町内会」とこのような社会情勢だからこそ必要であると町内会役員で協議をした「緑苑町内会」の2地区が新たに取組みを開始しました。

- 1) ライラック町内会「支え合いの会」
- 2) 緑苑町内会「緑苑EGAOプロジェクト」

補助金交付地区	活動実績	交付額
花川南第四町内会地区社会福祉協議会「生活自立支援(ちょいボラ)」	93件	24,000円
花川南睦美町内会生活支援部「暮らしのお手伝い」	30件	14,000円
ライラック町内会「支え合いの会」	18件	10,000円
緑苑町内会「緑苑EGAOプロジェクト」	21件	10,000円

(4) 地域福祉懇談会の開催【中止】

地域福祉関係者と社協職員が膝を突き合わせて懇談を行い、社協事業への意見や地域実情を聞かせていただく重要な機会として、地区社協や町内会役員、民生委員児童委員、高齢者クラブ役員、地域ボランティア等による地域福祉懇談会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全会場中止としました。

(5) 地区社協活動・地域福祉活動の助成

地区社協活動支援を目的に、各地区社協に対し運営費・事業費の助成を実施しました。また地区社協未組織の単位町内会福祉部の活動を助成し地区社協組織化への働きかけに努めました。

◆ 地区社協が行う事業への助成 地区社協 計 1,232,000 円 (17 地区)

◆ 単位町内会が行う事業への助成 単位町内会 計 100,000 円 (5 地区)

(6) 地区社協研修会の実施

各地区社協間の情報共有を目的とした連絡会議及び日々の地域活動に役立つ研修会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため集合研修を中止し、代替研修として「生活支援サービス」についてまとめた DVD を配布しました。

・ 配布日 令和3年3月22日(月)～

・ 内 容 「思いやりいしかり！助け合いビデオ」

(7) ふれあい給食サービス事業の実施

孤立しやすいひとり暮らし高齢者等が、地域関係者との「会食」または「配食」を通してふれあいの機会を持つことで、地域との結びつきを深め、孤立を防ぐことを目的として実施しました。12月には歳末特別ふれあい給食事業として、うるち米・赤米セットを配布しています。

また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症のふれあい給食の実施を中止した場合の特例事業として、電話連絡でのふれあいや安否確認を実施しました。

[ふれあい給食サービス実績]

地区社協等	内 容	実施回数		参加延人数		ボランティア延人数	
		R02年度	R01年度	R02年度	R01年度	R02年度	R01年度
花川南第一地区社協	配 食	24 回	24 回	650 名	665 名	48 名	48 名
花川南第二地区福祉の会	配 食	21 回	23 回	430 名	559 名	73 名	156 名
花川南第三地区社協	配 食	23 回	24 回	567 名	685 名	92 名	96 名
花川南第五地区社協	配 食	21 回	24 回	659 名	785 名	187 名	182 名
花川南第六町内会		0 回	5 回	0 名	114 名	0 名	37 名
花川南地区社協	配 食	8 回	21 回	181 名	477 名	43 名	116 名
花川南睦美町内会	配 食	24 回	24 回	547 名	699 名	78 名	90 名
ニューあかしゃ地区社協	配 食	13 回	24 回	211 名	297 名	18 名	39 名
花川南栄地区社協	配 食	23 回	23 回	750 名	768 名	93 名	90 名
白樺福祉会	配 食	20 回	20 回	738 名	715 名	340 名	347 名
紅葉山地域社協・ポプラ町内会	配 食	9 回	13 回	189 名	194 名	21 名	55 名
わかば地区社協	配 食	90 回	96 回	2,195 名	2,251 名	244 名	297 名
(緑苑町内会)		(24 回)	(24 回)	(320 名)	(240 名)	(53 名)	(48 名)
(北陽町内会)		(24 回)	(24 回)	(1,274 名)	(1,246 名)	(82 名)	(129 名)
(北六条町内会)		(20 回)	(24 回)	(435 名)	(590 名)	(40 名)	(48 名)
(すずかけ町内会)		(22 回)	(24 回)	(166 名)	(175 名)	(69 名)	(72 名)

地区社協等	内容	実施回数		参加延人数		ボランティア延人数	
		R02年度	R01年度	R02年度	R01年度	R02年度	R01年度
花畔地区社協・つくし町内会	配食	21回	24回	154名	187名	42名	50名
合計		297回	345回	7,271名	8,396名	1,279名	1,603名

[歳末特別ふれあい給食実績]

地区数		参加人数	
R02年度	R01年度	R02年度	R01年度
14地区	16地区	382名	453名

[ふれあい給食中止特例事業（電話連絡）実績]

地区社協等	実施回数	連絡延人数	ボランティア延人数
花川南第五地区社会福祉協議会	2回	48名	16名
花川南地区社会福祉協議会	4回	58名	12名
ニューあかしゃ地域福祉協議会	8回	10名	10名
すずかけ町内会（わかば地区社協）	3回	24名	5名
つくし町内会（花畔地区社協）	4回	36名	4名
合計	21回	176名	47名

(8) ふれあいサロンの設置促進・運営支援

地域に住む子どもや子育て中のお母さん、高齢者や障がい者の方など誰もが住みなれた地域でいきいきと暮らせるよう、仲間づくりや交流の場として活動している「地域住民同士のつどい・たまり場」＝サロンの設置や運営の支援を行いました。

◆ ふれあいサロン研究会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集合研修は中止しアンケート調査による情報交換、共有を実施しました。

- ・ 調査期間 令和2年9月16日（水）～令和2年10月7日（水）
- ・ 回収率 通いの場 90.2%（61団体中55団体回答）
高齢者クラブ 94.4%（36クラブ中34クラブ回答）
- ・ 内容 コロナ禍における活動状況、感染予防対策等

[ふれあいサロン設立・運営支援状況]

サロン名称	会場	設立
ふれあいサロン親船東	親船会館	H22年度
ふれあいサロンすずかけ	わかば会館	H23年度
ふれあいサロンひかり	居酒屋あかり	H24年度
げんきサロン紅葉山	個人宅	H24年度
サロンタッチ	花川南一条会館	H25年度
緑苑コーポサロン	緑苑コーポ集会所	H26年度
サロン・銀河	花川南第一会館	H26年度
楽々レクリエーション杏の会	ニューあかしゃ会館	H27年度
あかしゃふれあいサロン会	紅葉山会館	H27年度
サロンほほえみ	花川南会館	H28年度

サロン名称	会場	設立
パストラルサロンCOCOE Iね	パストラル会館	H28年度
ほっとサロン	個人宅	H29年度
公団はまなす自治会サロン	UR花川中央団地事務所	H29年度
サロンレイカ	花川中央会館	H30年度
農住クラブ	花畔農住会館	R01年度
緑虹クラブ	緑ヶ原会館	R01年度
すまいるクラブ	南3条会館	R01年度
筋トレ教室	南1条会館	R01年度
いきいきふれあい体操サロン	横町寿の家	R02年度
いきいきサロン茶話会	コスモス会館	R02年度
地域コミュニティカフェ絆	個人宅	R02年度

(9) 地域料理教室の開催【中止】

同じ地域に住む子どもから高齢者などさまざまな世代の方が、地域の会館等で「料理」をつくる機会を通して、世代間交流や顔の見えるつながりづくりとなるよう開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止といたしました。

※新型コロナウイルス感染症対応事業について

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの地域活動が変更または休止となりました。そこで地域のつながりを切らさないため令和2年度特別事業として以下の事業を実施しました。

① 感染症対策チラシの発行

令和2年5月末の緊急事態宣言解除後の地域活動再開に向けて、通いの場の開催や個人宅訪問際の対策と注意点をまとめた参考チラシを作成し、活動再開の後方支援として関係団体や民生委員児童委員等に1,000部配布しました。

② 会食会代替案チラシの配布

新型コロナウイルス感染症感染予防のため、これまで会食会を実施していた団体が活動内容を変更、休止せざるを得ない状況となりました。そのため、代替案として弁当を持ち帰る方式を60団体へ提案しました。

③ 共同制作プロジェクトいしかりささえアートの木

コロナ禍において、自粛生活が継続する中、自宅で目的や楽しみを持ちながら集中できる作業に取り組み、かつ人とのつながりを感じることができる「共同制作プロジェクト」を実施しました。

◆ 参加団体 21 団体・参加者 173 名

④ 赤まる便り事業

コロナ禍において、個人が自宅で取り組める簡易な脳トレ問題を地域ボランティアが玄関先等でお渡しし、利用対象者が目標や楽しみを持ちながら認知症予防等の頭の体操に取り組む事業を実施しました。また、本事業での利用者とボランティアのやりとりを通して、暮らしの困りごとに寄り添うなど地域内の「つながり」を維持しました。(実施月：令和2年7月～令和3年3月)

◆ 参加団体 36 団体・延利用者数 13,062 名・延地域ボランティア 2,092 名

◆ 赤まる便り問題製本作業ボランティア

ジェルメボランティア延 29 名・ボランティアセンター登録ボランティア延 78 名

⑤ コロナ禍でもつながる LINE 教室～LINE グループビデオ通話をしよう～

コロナ禍における対策事業として、家族、友人、地域の仲間との新たなつながりづくりを目的に、スマートフォンアプリ LINE を使うための講座を開催いたしました。

- ・ 開催日 令和 2 年 10 月 31 日（土）
- ・ 場 所 石狩市総合保健福祉センターりんくる 交流活動室
- ・ 参加者 20 名（午前の部 9 名、午後の部 11 名）
- ・ 内 容 ①友だち追加 ②グループトーク ③グループビデオ通話
先 生 役：石狩市社会福祉協議会 地域福祉課 地域支援係 職員
ボランティア：石狩翔陽高校ボランティア局 7 名

3. 地域見守りの仕組みづくりの推進

(1) 石狩市地域見守りネットワークの啓発

地域や関係機関の連携による安心・安全・福祉のまちづくりを目指し作成した「石狩市地域見守りネットワーク図」について、ホームページ等で広く周知を行いました。なお、啓発にあたっては、取組主体である町内会・自治会と協議しながら、それぞれの地域特性に合わせた仕組みづくりの推進に努めました。

(2) 福祉調整員（地域福祉コーディネーター）研修の実施

地域福祉活動の基本となる見守り活動や、さまざまな交流活動において、支援が必要な方々の個別ニーズやその地域全体の福祉課題を受け止め、地域の資源（情報・人・場所など）につないでいく役割を担う「福祉調整員」を民生委員児童委員に担っていただきます。その具体的な実践活動を学ぶ場として研修会を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催時間を大幅に短縮し、住民よろず相談所相談員研修会と合同し地区民協単位で実施しました。

[福祉調整員研修開催状況]

地 区	R02 参加者	開催年月日	開催場所（会場等）
厚田・浜益	14 名	R03.01.21	厚田保健センター
花川南第二	27 名	R03.02.17	石狩市総合保健福祉センター
花川南第一	18 名	R03.02.17	石狩市総合保健福祉センター
石 狩	21 名	R03.02.19	石狩市総合保健福祉センター

(3) 福祉協力員（地域福祉サポーター）研修並びに登録

地域で支援が必要と思われる方に、日常生活の中で見守り・支援等を行っている方を「福祉協力員」とし、実際に活動している方を本会に登録いただきました。

[福祉協力員登録状況]

町内会等地区	登録者数	開始時期	備 考
北陽町内会	18 名	H25.04.01	
緑苑町内会	11 名	H25.05.01	
北六条町内会	36 名	H25.11.01	
花川南第一町内会	57 名	H26.01.01	

町内会等地區	登録者数	開始時期	備 考
ニューあかしや町内会	20 名	H26.05.01	
花川南第五地区社会福祉協議会	10 名	H26.07.01	
花川南町内会	15 名	H25.05.01	
すずかけ町内会	19 名	H27.04.01	
花川南第二地区福祉の会	19 名	H27.06.01	
合 計	199 名		

(4) 「愛の合鍵」預かり事業

万が一の際の孤立死等の予防、早期発見につなげるための手段として希望者の自宅の 鍵を事前に預かり、地域等による見守りの際に異変を感じた場合、自宅内に入り安否確認を行います。より迅速な対応を可能とするため、保安機能を十分考慮した上で、鍵の預かり場所を 24 時間職員が常駐する病院や福祉施設等の機関に地域貢献事業の一環として協力いただきました。

鍵の預かり協力機関	利用者数	稼働実績	備考
医療法人天公会 石狩ファミリアホスピタル	2 名	0 名	R02 年度新規 0 名
(株)健康倶楽部 アルファパレス	2 名	0 名	R02 年度新規 0 名
社会医療法人ピエタ会 石狩病院	15 名	0 名	R02 年度新規 11 名

4. 市民が集い福祉にふれ福祉を考える場の創設

(1) ふれあい広場いしかりの実施【中止】

障がい者の社会参加、インクルージョンの普及、啓発を目的として「やさしさの風になろうよ」をテーマとして、市内関係者・団体により実行委員会を組織しふれあい広場いしかりを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止といたしました。

(2) 石狩市社会福祉大会の開催【中止】

地域福祉関係者、市民等が一堂に会し、お互いが地域福祉に対する共通理解を得ることを目的として、石狩市社会福祉大会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止といたしました。大会は中止となりましたが、社協活動に貢献された方への表彰及び多額の寄付を下された方に感謝状を贈呈いたしました。(広報ふれあい 2 月特別号でご紹介)

5. 在宅福祉サービス事業の実施

(1) 市受託による在宅福祉サービス事業

[在宅福祉サービス利用等実績]

事 業	登録件数			実施件数		
	R02 年度	R01 年度	対前年比	R02 年度	R01 年度	対前年比
訪問入浴サービス	2 件	2 件	100.00%	48 件	88 件	54.54%
訪問サービス (安否確認数)	38 件	46 件	82.60%	4,342 件 (8 件)	4,995 件 (14 件)	86.92%
配食サービス (安否確認数)	208 件	206 件	100.97%	19,206 件 (20 件)	20,142 件 (18 件)	95.35%

事業	登録件数			実施件数		
	R02年度	R01年度	対前年比	R02年度	R01年度	対前年比
内 旧石狩市地区	172件	164件	104.87%	14,649件	14,714件	99.55%
内 厚田区	16件	13件	123.07%	2,349件	2,363件	99.40%
内 浜益区	20件	29件	68.96%	2,208件	3,065件	72.03%
寝具乾燥消毒サービス	10件	10件	100.00%	11件	10件	110.00%
訪問理容サービス	6件	6件	100.00%	13件	13件	100.00%

※新型コロナウイルス感染症の影響により 4/28～5/10、5/18～22 は訪問サービス中止

(2) 福祉機器等の貸与

[福祉機器貸与実績]

種別	貸出件数			貸出数量		
	R02年度	R01年度	対前年比	R02年度	R01年度	対前年比
車椅子	26件	41件	63.41%	36台	67台	53.73%
疑似体験セット	4件	6件	66.66%	24セット	12セット	200.00%
アイマスク	2件	3件	66.66%	—	—	—
非接触型体温計	4件	—	—	4台	—	—
行事テント	3件	19件	15.78%	11張	92張	11.95%
レク用品 (杵白含む)	30件	108件	27.77%	37セット	153セット	24.18%
バリアフリーマット	0件	1件	0%	0枚	40枚	0%

(3) 福祉車両の貸与

[福祉車両の貸与実施状況]

福祉車両名称	R02年度	R01年度	対前年比
ダイハツハイゼット (共同募金助成)	9件	26件	34.61%
ホンダステップワゴン (共同募金助成) 厚田支所受付	5件	48件	10.41%

(4) 救急医療情報キットの活用支援

平成 22 年度に市内全世帯に配布した救急医療情報キットについて、新たに石狩市へ転入された方や介護保険認定調査時に未配布であることの確認がとれた世帯等に追加配布を行いました。

◆ 救急医療情報キット追加配布数 122セット (R01年度 164セット)

6. 関係福祉団体のネットワークづくり

(1) 障がい者関係団体連絡会議・障がい者週間記念事業の開催協力

石狩市内で活動する障がい者団体、関係団体により、情報交換や連携を図ることを目的とし、市障がい者関係団体連絡会議の開催に協力しました。また、市内で活動している障がい者、関係者が一堂に会しお互いの交流を深め、更なる連携を築くことを目的とする交流もちつき大会の開催、並びに「障がい者週間」を記念した障がい者関係団体連絡会議に加入している各団体の作品展を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止といたしました。代替の年末事業として、希望団体へみかん 1箱を贈呈いたしました。

◆ 石狩市障がい者関係団体連絡会議

・開催日 令和 2 年 11 月 10 日

- ・方法 書面開催
 - ・参加者 18 団体（18 名）
 - ◆ 障がい者週間記念事業 作品展【中止】
 - ◆ 交流もちつき大会（共同募金助成事業）【中止】
- 代替の年末事業として、希望した 12 団体へみかん 1 箱を贈呈。

【Ⅲ－２ 個別支援関連事業】

1. 権利擁護事業の実施

（１）日常生活自立支援事業の実施

北海道社会福祉協議会からの受託により、日常生活の判断に不安を感じている高齢者や障がいのある方等と契約し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理サービス、銀行の貸金庫で「土地の権利証」や「定期預金通帳」などを預かる日常生活自立支援事業を実施しております。

[相談等の実績]

相談等の種別	R02 年度	R01 年度	対前年比
高齢者等	569 件	804 件	70.77%
知的障がい者等	160 件	178 件	89.89%
精神障がい者等	671 件	522 件	128.54%
その他	0 件	1 件	00.00%
合計	1,400 件	1,505 件	93.02%

[契約者の状況]

契約書本人の状況	前年度末 契約者数	R02 年度の契約状況 (前年継続を含む)			累 計
		新 規	解 約	現在状況	
高齢者	12 件	1 件	1 件	12 件	24 件
知的障がい者	4 件	1 件	1 件	4 件	5 件
精神障がい者	6 件	0 件	0 件	6 件	8 件
その他（発達障がい等）	0 件	0 件	0 件	0 件	1 件
合計	22 件	2 件	2 件	22 件	38 件

（２）生活あんしんサポート事業の実施

福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理サービスが必要であるにも関わらず、グループホームやサービス付高齢者住宅等へ入居しているため、日常生活自立支援事業を利用できない方を対象に、本会独自事業として、本事業と同等のサービスを実施しております。

[契約者の状況]

契約書本人の状況	前年度末 契約者数	R02 年度の契約状況(前年継続を含む)			累 計
		新 規	解 約	現在状況	
高齢者	6 件	3 件	1 件	8 件	15 件
知的障がい者	0 件	1 件	0 件	1 件	1 件
精神障がい者	1 件	0 件	0 件	1 件	1 件

契約書本人の状況	前年度末 契約者数	R02年度の契約状況(前年継続を含む)			累 計
		新 規	解 約	現在状況	
その他（発達障がい等）	0件	0件	0件	0件	0件
合計	7件	4件	1件	10件	17件

（3）生活支援員の登録並びに育成

日常生活自立支援事業の担い手である生活支援員は、令和2年度末までに、25名を名簿登録いたしました。また、スキルアップのため、以下の研修会を開催しました。

[研修会等の開催状況]

回	開催年月日 (発送日等)	開催場所（会場）	参加者数	主な内容
1	R02.07.15	自宅レポート学習	25名	生活保護の基礎知識
2	R02.09.25	石狩市総合保健福祉センター	17名	高齢者施設等のいろいろ
3	R03.01.20	自宅レポート学習	26名	市民後見概論
4	R03.01.31	自宅レポート学習	14名	福祉サービス利用援助事業における生活支援員研修

（4）「私らしく」の活用とエンディングプラン・サポートの検討

自分の意思を伝えるノート「私らしく」を活用し、安心して人生の終末を迎えるための準備の一環として、令和3年度より、高齢者等安心見守り支援事業を石狩市より受託することとなりました。

2. 生活困窮者自立支援事業の実施（市受託）

（1）事業の積極的広報

社協広報等で広く事業の周知を行いました。

（2）自立相談支援事業の実施

相談に来られた生活に困りごとや不安を抱えている方に、どのような支援が必要かを一緒に考え、資金貸付事業や関係機関との連携も図りながら自立に向けた支援を行いました。

[事業実施内容・相談等件数]

実施内容	R02年度	R01年度	対前年比	備 考
新規相談	376件	103件	365.05%	
継続相談（電話・訪問・面談等）	1,857件	373件	497.86%	
支援調整会議	384件	58回	662.07%	
他機関連携・会議等	192件	176件	109.10%	
支援プラン作成	341件	27件	1262.97%	
評価	135件	23件	586.96%	
住居確保給付金	54件	3件	1800.00%	11世帯

（3）家計改善支援事業の実施

根本的な課題を把握できるよう、収支表等を作成し家計を「見える化」するとともに、家計改善に向けた助言、専門機関へのつなぎ等を行いました。

◆ 家計改善支援実施件数 28件・家計表作成 1世帯

（4）就労準備支援事業の実施と無料職業紹介所の許可申請

直ちに就労することが困難な課題を抱える生活困窮者に対し、基礎的な能力の習得を段階的にサポートし、一般就労に向けた支援や就労機会の提供を行いました。

また、無料職業紹介所開設許可申請を令和3年1月28日に北海道労働局に提出いたしました。

◆ 就労準備支援実施件数 119 件・求人開拓 9 社・就労体験 12 名・採用決定 28 名

3. 貸付による世帯支援

(1) 生活福祉資金貸付事業

貸付相談に対し、世帯更生につながる相談援助を行いました。また、北海道社会福祉協議会の補助金により、昨年度に引き続き専任相談員を配置し、相談者に対しより身近な窓口となるよう努め、多くの相談を受け付けました。

北海道社会福祉協議会の資金である生活福祉資金の貸付を窓口機関として貸付相談並びに連絡調整を行いました。特に新型コロナウイルス感染症による減収世帯を対象とした生活福祉資金「緊急小口資金特例貸付」「総合支援資金特例貸付」については、多数の申請受付対応を行いました。

(2) 福祉金庫貸付事業

緊急生活資金として上限 50,000 円の福祉金庫の貸付を行いました。

[相談件数・貸付額実績]

	生活福祉資金貸付事業			福祉金庫貸付事業		
	R02 年度	R01 年度	対前年比	R02 年度	R01 年度	対前年比
相談件数	2,675 件	138 件	1938.41%	120 件	115 件	104.35%
貸付件数	821 件	13 件	6315.38%	39 件	29 件	134.48%
貸付金額	326,618,000 円	7,174,000 円	4552.80%	1,360,000 円	1,030,000 円	132.04%
一件平均	—	—	—	34,872 円	35,517 円	98.18%

(3) 貸付調査委員会

3月開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度に延期としました。

4. 心配ごと相談事業

(1) 住民よろず相談所の設置

毎週火曜日、民生委員の協力により住民よろず相談所を開設しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により上半期は開設を中止しましたが、開設場所の変更やパーティションの設置、一定時間ごとの換気など、同感染症の予防対策を講じた上で、下半期は従前どおり開設しています。

[住民よろず相談所開設実績]

開設場所	開設日数			相談件数		
	R02 年度	R01 年度	対前年比	R02 年度	R01 年度	対前年比
りんくる	23 日	44 日	52.27%	6 件	23 件	26.09%
厚田支所	12 日	12 日	100.00%	0 件	0 件	000.00%
浜益支所	12 日	12 日	100.00%	0 件	0 件	000.00%

(2) 住民よろず相談所相談員研修会の開催

例年、相談員の資質向上を目的とし、民生委員児童委員連合協議会と合同で研修会を開催して

いましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、福祉調整員研修を兼ねて地区民協単位で実施しました。

[相談員研修会] (再掲)

地 区	R02 参加者	開催年月日	開催場所 (会場等)
厚田・浜益	14 名	R03.01.21	厚田保健センター
花川南第二	27 名	R03.02.17	石狩市総合保健福祉センター
花川南第一	18 名	R03.02.17	石狩市総合保健福祉センター
石 狩	21 名	R03.02.19	石狩市総合保健福祉センター

5. 成年後見センターの運営 (市受託)

(1) 成年後見制度に関する相談及び利用支援

成年後見に関する相談窓口として各種相談等の対応に努めました。

[相談等の実績]

相談等の種別	R02 年度	R01 年度	対前年比	備考
事業問い合わせ	5 件	6 件	83.33%	
法定後見	41 件	28 件	146.43%	
任意後見	3 件	4 件	75.00%	
法人後見	14 件	6 件	233.33%	
日常生活自立支援事業関係	13 件	29 件	44.83%	
本人・家族の金銭管理問題	430 件	595 件	72.27%	
本人・家族の生活上の問題	971 件	1,102 件	88.11%	
支援員からの相談や連絡調整事項	329 件	319 件	103.13%	
関係機関との連絡調整	1,037 件	759 件	136.63%	
各種事業者との連絡調整	314 件	394 件	79.70%	
その他	3 件	4 件	75.00%	
合 計	3,160 件	3,166 件	99.81%	

(2) 成年後見制度に関する広報及び啓発

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、インターネットを利用した動画配信による広報啓発活動を行いました。

[実施状況]

動 画 タ イ ト ル	公開年月日	撮影参加者数
必見！知らなきゃ損する！成年後見制度パート1	R02.07.10	14 名
必見！知らなきゃ損する！成年後見制度パート2	R02.08.24	22 名
必見！知らなきゃ損する！成年後見制度パート3	R02.10.15	12 名

(3) 成年後見制度相談会の実施 (中止)

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、令和2年度は中止しました。

(4) 市民後見人養成研修修了者への研修等の実施

法人後見の担い手である後見支援員へのフォローアップ研修は、生活支援員研修会と合同で開

催しています。※ 前掲「生活支援員の登録並びに育成」参照

(5) 後見支援員の登録及び活動調整（市民後見人養成研修修了者対象）

令和2年度は、40名が名簿登録をしています。なお、法人後見の履行補助者として、24名の後見支援員が活動しています。

(6) 後見支援員の適正な活動のための相談及び支援

後見支援員による広報啓発活動グループである、石狩後見サポーターズの事務局会議、運営会議にオブザーバーとして参加し、石狩後見サポーターズによる、成年後見制度説明動画の撮影制作をサポートしております。

[後見支援員の主な活動状況]

活動場面	活動日	活動人数
動画撮影パート1	R02.06.30	14名
動画撮影パート2	R02.07.27	13名
動画撮影パート2（二回目の撮影）	R02.08.07	9名
動画撮影パート3	R02.09.11	12名
動画撮影パート4（令和3年度公開）	R03.03.05	13名

(7) 成年後見制度及び市民後見制度に関する関係機関との連携

制度利用促進および権利擁護の推進を目指して、弁護士や司法書士、行政担当部署、市内の福祉関係機関によって行われる、石狩市権利擁護連携会議の運営に携わりました。

◆ 石狩市権利擁護連携会議

第一回 令和2年9月30日～10月12日 書面会議へ参加

また、事業推進状況の把握及び受任ケース等に係る助言を得るため、法律関係者、医療従事者、高齢者・障がい者相談機関関係者、行政担当部署で組織された運営委員会を開催しております。

◆ 石狩市成年後見センター運営委員会

第一回 令和2年9月24日 会場 石狩市総合保健福祉センター 301-302 会議室

第二回 令和3年3月25日 会場 市役所 401-402 会議室

(8) 事例検討会の開催

制度の熟知や利用促進、または制度利用に関する困難事例の解決を目的として、関係機関からの要請による地域ケア会議等に参加しております。

(9) 中核機関設立に関する研究

地域連携ネットワークのコーディネートを担う中核的機関について、行政担当部署と話し合いを継続しています。中核機関を担うことを想定し、行政担当部署と受任調整担当者会議を開催しました。

6. 法人後見の受任

市の受託以外に、本会が法人として後見人となる、法人後見業務を実施しております。

[法人後見受任状況]

本人の状況	前年度末	R02年度の契約状況(前年度継続含む)			累計
		新規	終了	現在状況	
高齢者	9件	8件	2件	15件	24件

本人の状況	前年度末	R02年度の契約状況(前年度継続含む)			累計
		新規	終了	現在状況	
知的障がい者	2件	0件	0件	2件	2件
精神障がい者	0件	1件	0件	1件	1件
その他(発達障がい等)	1件	1件	0件	2件	2件
合計	12件	10件	2件	20件	29件

【Ⅲ-3 ボランティアセンター・関係福祉団体関連事業】

1. ボランティアの相談・登録・マッチング

(1) 石狩市ボランティアセンターの運営

ボランティア活動を行いたい人と、ボランティアの手助けがほしい人との橋渡し役という調整を行うとともに、地域でボランティア活動を行っている各グループ等と連携を図りながら、いつでも誰でも参加できるボランティア活動の拠点となるようセンターを運営いたしました。

[ボランティア登録状況]

区分	登録者数等		対前年比
	R02年度	R01年度	
個人登録(重複含)	200名	261名	76.63%
団体登録(重複含) ボ連協加入	(8団体)101名	(9団体)104名	97.12%
団体登録(重複含) ボ連協未加入	(26団体)289名	(32団体)387名	74.68%
実登録者数(重複登録を除く)	476名	625名	76.16%
	内男性 152名	内男性 190名	80.00%
	女性 324名	女性 435名	74.48%
新規登録者数(実登録者内数)	58名	159名	36.48%

[ボランティア保険加入状況]

区分	登録者数等		対前年比
	R02年度	R01年度	
個人及びグループ登録保険加入者	343名	420名	81.67%
ボランティア連絡協議会保険加入者	101名	96名	105.21%
ボランティア行事等受付件数	43件	65件	66.15%

[ボランティアコーディネーター総数]

調整先	調整件数			調整延人数		
	R02年度	R01年度	対前年比	R02年度	R01年度	対前年比
施設等	1,716件	5,118件	33.53%	2,694名	8,912名	30.23%
在宅	32件	71件	45.07%	32名	82名	39.02%
合計	1,748件	5,189件	33.69%	2,726名	8,994名	30.31%

[ボランティアコーディネーター施設等内訳]

施設等名称	活動内容	回数	人数
NPO法人イコロン村	外出行事のサポート	3	3

施設等名称	活動内容	回数	人数
	活動のサポート全般	181	246
NPO 法人ジェルメ・まるしえ	園芸作業	6	12
	学習サポート	27	36
NPO 法人やすみや	趣味活動のサポート	5	5
	調理のサポート	16	16
アクトスポーツプロジェクト	趣味活動のサポート	10	15
いきいきひまわりサロン	活動のサポート全般	3	4
えみな	調理のサポート	61	63
えりすいしかりネットテレビ	情報整理のサポート	26	28
	情報発信のサポート	31	38
グループホームおやふね	花壇の整備	6	6
グループホームひなた	活動のサポート全般	40	40
ケアハウスいしかり	活動のサポート全般	14	14
セージュ新ことに	活動のサポート全般	144	144
	趣味活動のサポート	60	60
デイサービスセンターばんなぐろ	活動のサポート全般	1	1
デイサービス我が家 樽川の家	清掃、食器洗い等のサポート	116	116
デイサービス泉共北6条	特技披露	1	3
デイドリーム	活動のサポート全般	304	532
	余暇活動	222	339
ふれあいサロンひかり	活動のサポート全般	7	19
	問題集配布	3	6
リハビリ型デイサービス Banbi	傾聴活動	7	7
	趣味活動のサポート	6	6
ワークセンターポロレ	清掃、食器洗い等のサポート	2	2
花川南地区社会福祉協議会	趣味活動のサポート	8	16
花川病院	趣味活動のサポート	2	2
介護老人保健施設茨戸アカシアハイツ	余暇活動	3	5
楽々レクリエーション杏の会	活動のサポート全般	5	10
児童発達支援・放課後等デイサービス 10 カラーズ	趣味活動のサポート	13	13
生活介護あいあい	趣味活動のサポート	15	15
	洗車	28	28
生振の里	木工品制作	2	2
石狩市こども発達支援センター	外出行事のサポート	1	1
	託児	1	1
石狩市議会	朗読	1	4
石狩市教育委員会社会教育課	絵本や紙芝居等の読み聞かせ	2	5

施設等名称	活動内容	回数	人数
(寺子屋教室)	学習サポート	1	1
	特技披露	2	2
石狩市社会福祉協議会	ゴム印押印活動	1	3
	ハイスタンプ貼付活動	1	3
	花壇の整備	1	1
	活動のサポート全般	1	7
	梱包活動	1	4
	雑巾縫い活動	18	121
	情報誌発送活動	10	57
	製本活動	23	108
	切手整理活動	25	143
	縫製活動	2	10
	朗読	1	1
石狩市身体障害者福祉協会	朗読	5	5
石狩市秘書広報課	朗読	7	41
石狩市保健福祉部高齢者支援課	活動のサポート全般	15	76
	特技披露	1	4
石狩市保健福祉部障がい福祉課	朗読	1	3
石狩市防犯協会連合会、石狩市暴力追放運動推進協議会	ステッカー台紙貼付活動	1	11
石狩市立南線小学校	体育授業の補助	9	9
樽川デイサービスセンター四季彩館	活動のサポート全般	161	174
	特技披露	6	6
特別養護老人ホームばんなぐろ	趣味活動のサポート	1	2
放課後クラブ ニコリ	活動のサポート全般	39	39
	合 計	1,716	2,694

[ボランティアコーディネート在宅内訳]

施設等名称	活動内容	回数	人数
高齢者宅	傾聴活動	30	30
	病院送迎	2	2
	合 計	32	32

[預託物品等の受入・払出実績]

受入物品等の名称	払出先	数量
アルコール消毒液	石狩市社会福祉協議会	6500 ml
入れ歯洗浄剤	グループホームハートの家六番館	4 箱
おしりふき	生活介護あいあい	2 袋
おもちゃかぼちゃ	花川北老人デイサービスセンター	11 個

受入物品等の名称	払 出 先	数 量
おもちゃかぼちゃ	放課後児童福祉デイサービスあすなろ	41 個
お手玉	特別養護老人ホームばんなぐろ	30 個
お手玉	認定こども園ミナクル幼稚園	30 個
お手玉	放課後等デイサービスあすなろ	30 個
お手玉	放課後等デイサービスあんだんて	30 個
スプレーボトル	石狩市社会福祉協議会	3 本
タオル	石狩市社会福祉協議会	445 枚
ディスペンサー	石狩市社会福祉協議会	1 本
ハイスタンプ	石狩市社会福祉協議会	704 枚
バスタオル	はまますデイサービスセンター	10 枚
バスタオル	石狩市社会福祉協議会	7 枚
パズル	NPO 法人ふれあい広場タンポポのはら	11 点
パズル	サポートセンターあらいぶ	3 点
ポット	ギャラリーヴィン	1 台
ポット	特別養護老人ホームあいどまり	1 台
ポビン	ギャラリーヴィン	1 袋
囲碁セット	ナースイン花ぴりか	1 台
囲碁セット	特別養護老人ホームばんなぐろ	1 台
囲碁セット	放課後等デイサービスあんだんて	1 台
液晶テレビ	NPO 法人ジェルメ・まるしえ	1 台
絵手紙セット	ふれあいサロンひかり	1 式
絵本	コミュニティ若葉	24 冊
玩具	放課後等デイサービスあんだんて	1 個
巾着袋	特別養護老人ホームばんなぐろ	15 枚
靴下	デイサービス四季彩館	34 足
雑巾	市内小・中・高校	1,750 枚
雑巾	石狩市社会福祉協議会	20 枚
使い捨てマスク	NPO 法人イコロン村	60 枚
使い捨てマスク	NPO 法人ジェルメ・まるしえ	50 枚
使い捨てマスク	NPO 法人石狩はまなす館	50 枚
使い捨てマスク	障がい者支援施設生振の里	50 枚
使い捨てマスク	石狩市社会福祉協議会	250 枚
使用済みテレホンカード	NPO 法人札幌いちご会	410 枚
使用済み切手	NPO 法人札幌いちご会	23,600 g
刺し子花布巾セット	花川北老人デイサービスセンター	7 セット
糸	ギャラリーヴィン	46 本
紙オムツ	グループホームハートの家六番館	11 袋

受入物品等の名称	払出先	数量
紙オムツ	グループホームひなた	2 袋
紙オムツ	花川南老人デイサービスセンター	2 袋
紙オムツ	花川北老人デイサービスセンター	2 袋
紙オムツ	生活介護あいあい	6 袋
紙オムツ	特別養護老人ホームあいどまり	6 袋
車イス	NPO 法人こども・コムステーション・いしかり	1 台
車イス	花川北老人デイサービスセンター	1 台
車イス	通所介護デイドリーム	1 台
収入印紙	石狩市社会福祉協議会	400 円分
書き損じはがき	石狩市社会福祉協議会	280 枚
小豆	NPO 法人ジェルメ・まるしえ	2.5 kg
杖	ケアハウスいしかり	2 本
杖	デイサービスセンターらいふてらす石狩花川	1 本
杖	通所介護デイドリーム	1 本
石鹸	グループホームひなた	17 個
折り紙	グループホームおやふね	9 袋
折り紙	星置養護学校紅葉山校舎	1 袋
折り紙	石狩市社会福祉協議会	5 袋
洗剤	星置養護学校紅葉山校舎	6 箱
洗剤	星置養護学校紅葉山校舎	7 本
体温計	石狩市社会福祉協議会	1 個
尿とりパッド	グループホームひなた	3 袋
尿とりパッド	花川南老人デイサービスセンター	2 袋
尿とりパッド	花川北老人デイサービスセンター	8 袋
尿とりパッド	生活介護あいあい	5 袋
尿とりパッド	特別養護老人ホームあいどまり	4 袋
肌着	NPO 法人ふれあい広場タンポポのはら	8 袋
肌着	デイサービス四季彩館	28 袋
布マスク	GH 樽川ふれあい館	20 枚
布マスク	NPO 法人サムリブ	50 枚
布マスク	えみな	45 枚
布マスク	サポートセンターあらいぶ	50 枚
布マスク	たすけあいワーカーズエルサ	60 枚
布マスク	デイドリーム	30 枚
布マスク	生活介護あいあい	20 枚
布マスク	石狩市社会福祉協議会	350 枚
布マスク	特別養護老人ホーム石狩市希久の園	13 枚

受入物品等の名称	払出先	数量
文房具（色紙セット）	石狩市社会福祉協議会	1 セット
文房具（ペンセット）	特別養護老人ホームあいどまり	4 セット
文房具（お絵描きセット）	放課後等デイサービスあんだんて	1 セット
文房具	デイサービス四季彩館	53 点
文房具	どんぐりクラブ	87 点
文房具	石狩市社会福祉協議会	10 点
文房具	特別養護老人ホームあいどまり	69 点
本	デイサービス四季彩館	2 冊
未使用テレホンカード	NPO 法人札幌いちご会	60 枚
未使用はがき	石狩市社会福祉協議会	511 枚
未使用切手	石狩市社会福祉協議会	12,579 円分
毛糸	NPO 法人サムリブ	120 玉
毛糸	えるむ認定こども園	144 玉
毛糸	ギャラリーヴィン	110 玉
毛糸	特別養護老人ホームばんなぐろ	25 玉
毛糸	認定こども園ミナクル幼稚園	155 玉
綿棒	特別養護老人ホームあいどまり	2 箱
絆創膏	特別養護老人ホームあいどまり	1 箱
飲料	石狩市社会福祉協議会（生活困窮者に）	120 本
米	石狩市社会福祉協議会（生活困窮者に）	50 kg
食品（菓子、スープ）	石狩市社会福祉協議会（生活困窮者に）	95 箱

[(株)セブン-イレブン・ジャパン社会貢献活動による預託物品等の受入・払出実績]

受入年月日	払出年月日	食料品	雑貨	参加団体数
R02.11.04	R02.11.05	13 箱	14 箱	13 団体

(2) ボランティア情報誌の発行

ボランティア情報の発信を目的に、ボランティアニーズ等を掲載した『愉快的仲間』を月1回発行し、ボランティア活動参加の働きかけを行いました。また、各種研修の案内等は社協ふれあいや広報いしかり、町内回覧、ポスター、あいボード、インターネット等を活用し、周知を図りました。

◆ ボランティア情報周知実績

- ・ 公式ホームページの更新（愉快的仲間をアップ） 12 回
- ・ 社協ふれあいでの周知 4 回
- ・ 町内会回覧、あいボードの使用 4 回
- ・ 公式ツイッター・フェイスブック発信 11 回

2. 若年層など裾野の拡充

(1) 小中学生ボランティアの育成及び福祉教育の推進

市内小中学校等との連携のもと、福祉やボランティアをより身近なものとするを目的に、児童や生徒を対象とした「福祉体験プログラム 出前講座」を作成・配布。市内の学校から依頼を受け、出前講座を実施しました。

[出前講座実績]

学 校 名	実施回数	参加者数	内 容
双葉小学校	延 6 回	延 210 名	アイマスク・高齢者疑似・車椅子体験

(2) ボランティア登録の加入促進

ボランティア活動保険料に学生料金を設けた他、市内の高校に働きかけ、若年層のボランティア加入者の促進を図りました。

(3) ボランティア活動指定校の助成

市内小中高校 8 校（花川南小学校、生振小学校、石狩八幡小学校、浜益小学校、花川南中学校、石狩中学校、厚田学園、浜益中学校）をボランティア指定校とし、そのボランティア活動事業費を助成する等福祉教育の推進に努めました。

◆ ボランティア活動指定校助成金 8 校・260,000 円（R01 年度：9 校・340,000 円）

(4) キッズボランティア体験の実施

(5) ワークキャンプ教室

※（4）、（5）の事業については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とし代替事業としてボランティアスクール【4（1）】に包括しました。

3. ボランティアのやりがいや達成感、励みによる活性化

(1) ボランティアポイントの実施

新たなボランティア活動者の発掘や、すでに登録している方に対して、やりがいや達成感といった活動に対する励みとなる事を目的に、活動に対するポイント付与制度を実施しました。また、活動先の施設等とも連携したポイントの管理体制の整備、押印数に応じたハイスタンプへの交換作業を順次行いました。

[ボランティアポイント登録実績]

区 分	登録者数等		対前年比
	R02 年度	R01 年度	
個人登録	127 名	159 名	79.87%
団体登録（ボ連協加入）	101 名	96 名	105.21%
団体登録（ボ連協未加入）	71 名	85 名	83.53%
実登録者数	299 名	340 名	87.94%
新規登録者数	20 名	61 名	32.79%

[ポイント交換実績]

	R02 年度	R01 年度	対前年比
獲得ポイント数	9,427 P	29,546 P	31.91%
ハイスタンプ交換枚数	143,820 枚	246,460 枚	58.35%
ハイスタンプ寄付枚数（窓口寄付箱）	2,363 枚	33,084 枚	7.14%

[ボランティア活動協力（活動先）実績]

区 分	R02 年度	R01 年度	対前年比
高齢者施設等	12 件	68 件	17.65%
高齢者団体	0 件	6 件	0%
障がい（児）者施設	8 件	13 件	61.54%
障がい者団体	1 件	2 件	50.00%
病院	1 件	2 件	50.00%
地域サロン	3 件	9 件	33.33%
社会福祉協議会・地区社会福祉協議会	2 件	2 件	100.00%
町内会	0 件	15 件	0%
市機関	6 件	7 件	85.71%
学校	1 件	2 件	50.00%
寺院・神社等	0 件	2 件	0%
放課後児童館	0 件	11 件	0%
その他の団体	4 件	10 件	40.00%
個人	2 件	0 件	
合 計	40 件	149 件	26.85%

(2) 活動歴の「見える化」の実施

センターを通じたボランティア活動をする方に対し、活動回数を見える形で表現する事で、ボランティアに対してのやりがいや達成感、励み、新たな活動への意欲の向上、活性化を図る事を目的とし、実施しました。

[活動歴の「見える化」実績]

活動回数（色等）	R02 年度	R01 年度	対前年比	備考
30 回（ブロンズ）	68 名	71 名	95.77%	
60 回（シルバー）	29 名	27 名	107.41%	
90 回（ゴールド）	5 名	6 名	83.33%	
100 回（ピンバッチ）	62 名	67 名	92.54%	
200 回（ピンバッチ）	23 名	19 名	121.05%	
300 回（ピンバッチ）	10 名	9 名	111.11%	
400 回（ピンバッチ）	1 名	3 名	33.33%	
500 回（ピンバッチ）	15 名	13 名	115.38%	
1000 回（ピンバッチ）	1 名	1 名	100.00%	
合 計	214 名	216 名	99.07%	

4. 各種研修の開催

(1) ボランティアスクールの開催

ボランティアに興味がある方や活動の幅を広げたい方を対象に、基礎知識及びスキル向上を目的とし実施しており、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えない中、「今

できることをできる場所で」ボランティア体験をできるよう、自宅でできるボランティア体験プログラム集を作成し、多くの方に自宅でボランティア体験をしていただきました。

なお、本事業については、対象者を小学生からとし、例年単独事業として実施している、「キッズボランティア体験」、また、新規事業で実施予定であった「ワークキャンプ教室」を包括し事業を実施しました。

◆ ボランティアスクール

- ・ 体験期間 令和3年1月1日（金）～ 令和3年1月31日（日）
- ・ 体験場所 参加者の自宅
- ・ 参加人数 124名（小学生87名）
- ・ 内容 自宅で取り組めるボランティア体験プログラム 37プログラム

(2) 災害ボランティア関係事業の実施

近年全国で多発する自然災害は各地に甚大な被害をもたらし、その地域に住む被災された方々は不自由な避難生活等を強いられます。

本市においては、平成29年に浜益区で発生した大雨災害や、石狩市地域防災計画で想定されている水害、地震災害、雪害等が発生した際には、自宅での待機生活、避難所での避難生活が考えられます。

そこで令和2年度は、自宅にある身近にあるもので、災害時に役立つ活用法を体験し、個々人の自主防災意識の向上を目指し、研修会を開催しました。

◆ 災害ボランティア研修会

- ・ 体験期間 令和3年2月20日（土）～ 令和3年2月26日（金）
- ・ 体験場所 参加者の自宅
- ・ 参加人数 30名
- ・ 内容 メニュー ① キッチンペーパーでマスクを作ってみよう
メニュー ② 簡易クッションを作ってみよう
メニュー ③ ラップ活用法
メニュー ④ 火を使わず、非常食を温めてみよう

5. ボランティアグループの育成

(1) ボランティア連絡協議会助成並びに事務局支援

各福祉事業等で活躍するボランティア活動の継続を目的に、ボランティアグループへの参加の呼びかけや、石狩市ボランティア連絡協議会に対しての助成を行いました。

◆ 石狩市ボランティア連絡協議会への助成金 320,000円

(2) 声のお便り

市内在住の視覚障がい者に対し石狩市広報等を朗読した録音物の無償貸出を実施しました。また、録音作業を行う石狩朗読ボランティアの会に対し運営助成を行いました。

◆ 石狩朗読ボランティアの会助成金 45,000円

◆ 声のお便り 年6回実施 延36名利用

6. 関係福祉団体の事務局運営支援

福祉団体・当事者団体として位置づけられる各団体の事務局を担いました。同時に地域福祉推進、福祉のまちづくりをめざし本会との連携に努めました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの団体事業や研修等は中止となりましたが、それぞれの団体で代替事業を行い、オンライン会議を導入するなど工夫をしながら運営いたしました。

[石狩市民生委員児童委員連合協議会事務局]

区 分	内 容	回数・人数
事業実施	定数	131名
	総会・監査・役員会 ※書面開催含む	15回
	住民よろず相談所相談員として協力	47回
	ふれあい広場いしかりへの協力	【中止】
	高齢者・障がい者合同スポーツ大会への協力	【中止】
	共同募金運動（赤い羽根・歳末）への協力	全体
	道民児連の各会議への出席	1回/1名
広報誌の発行	年2回	
研修会等参加	全民児連・道民児連各種研修及び大会	36名
	石狩市民生委員児童委員連合協議会研修会および住民よろず相談所相談員研修会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地区ごとに開催	5地区/80名
	一日合同市民相談	2名
	民児連親睦会新年交礼会	【中止】
	その他の研修、会議及び大会	2名

[石狩市高齢者クラブ連合会事務局]

区 分	内 容	回数・人数
事業実施	各種会議（評議員会・役員会・部会等）※書面開催含む	15回
	広報誌・便りの発行	2回
	高齢者・障がい者合同スポーツ大会への参加	【中止】
	ふれあい広場いしかりへの参画	【中止】
	共同募金運動への協力	—
	携帯電話に関するアンケート調査	—
	非接触型体温計配布	—
	会員数（全 36 クラブ）	1,907名
研修会等参加	パークゴルフ大会（6月、9月）	【中止】
	令和2年度リーダー研修会	【中止】
	女性部日帰り研修	【中止】
	令和2年度石狩管内小ブロック研修会（恵庭市）	【中止】
	第48回石高連交歓芸能発表大会	【中止】
	令和2年度一泊研修会	【中止】
	交通安全関係（街頭啓発・チャレンジザ交通安全）	—

区 分	内 容	回数・人数
	石高連新年交礼会	【中止】
	第2回カローリング大会	【中止】
	令和2年度女性部リーダー研修会	【中止】

[石狩市身体障害者福祉協会事務局]

区 分	内 容	回数・人数
事業実施	各種会議等（総会・役員会等）※書面開催含む	7回
	会報誌の発行	2回
	高齢者・障がい者合同スポーツ大会への参加	【中止】
	共同募金運動への協力	—
	ふれあい広場いしかりへの参画	【中止】
	石狩市障がい者関係団体連絡会議（交流もちつき）	【中止】
	ハガキでつながろう！プロジェクト	18名
	新型コロナウイルス感染症対策セット配布	46名
	会員数	45名
研修会等参加	日帰り研修	【中止】
	一泊研修	【中止】
	障がい者向けパソコン教室（全3日）	延15名
	新年親睦交流会	【中止】
	石狩市カローリング交流大会への参加	【中止】

[石狩市ボランティア連絡協議会事務局]

区 分	内 容	回数・人数
事業実施	各種会議等（総会・理事会・部会等）※書面開催含む	14回
	会報誌の発行	2回
	高齢者・障がい者合同スポーツ大会への協力	【中止】
	緑の募金街頭啓発への協力	【中止】
	共同募金運動への協力	—
	ふれあい広場いしかりへの参画	【中止】
	ふれあい喫茶の営業	【中止】
	新年親睦交流会	【中止】
	新型コロナウイルス感染症対策事業（全会員にマスク配布）	87名
会員数	101名	
研修会等参加	日帰り研修	43名
	会員研修	28名
	管内ボラネットスキルアップ研修会（札幌市）	6名

[石狩市視覚障がい者協会瞳会事務局]

区 分	内 容	回数・人数
事業実施	各種会議等（総会・役員会等）※書面開催含む	3回
	高齢者・障がい者合同スポーツ大会への参加	【中止】
	石狩市障がい者関係団体連絡会議（交流もちつき）	【中止】
	ふれあい広場いしかりへの参画	【中止】
	会員数	20名
研修会等参加	日帰り研修会	【中止】
	一泊研修	【中止】

[石狩市連合遺族会並びに石狩市遺族会事務局]

区 分	内 容	回数・人数
事業実施	各種会議等（連合遺族会、各遺族会会議等）※書面開催含む	2回
	会員数（単位遺族会合計）	47名
	会報発行	1回
	各単位遺族会事務局支援（石狩、浜益）	—
研修会等参加	札幌護国神社例大祭	【中止】
	忠魂碑、彰徳碑参拝（石狩）・戦没者追悼式（浜益）	【中止】
	北海道戦没者追悼式	1名
	石狩地区連合遺族会役職者研修会（開催地）	【中止】
	石狩市連合遺族会親睦交流会	【中止】

IV 令和2年度個別事業報告（介護サービス課）

【IV-1 石狩市花川北老人デイサービスセンター】

1. 事業所概要

- (1) 指定通所介護事業所・石狩市通所介護相当サービス事業所（定員 35 名）
 (2) サービス提供時間（基本） 9 時 30 分～15 時 30 分（6 時間）

2. 事業実施状況

要介護（要支援等）高齢者に、ケアプラン並びに通所介護計画に基づき、送迎、入浴、食事、機能訓練、余暇活動などの各種サービスを提供し、社会的孤立感の解消や心身機能の維持向上を図りました。また、新型コロナウイルス感染対策のため、「マスクの着用」「手洗いと手指消毒」、「利用者」と利用者との距離を確保する」などの他、1 日の利用者数を利用定員より少ない数に限定するなど徹底に勤めました。

[介護度別延利用者数]

要介護度	R02 年度	R01 年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度
事業対象	14.81%	17.07%	17.78%	11.42%	—	—
要支援 1	00.00%	00.00%	00.00%	2.77%	5.20%	7.67%
要支援 2	00.00%	00.00%	00.00%	5.51%	14.70%	15.84%
要介護 1	53.53%	51.25%	44.22%	40.30%	41.90%	42.58%
要介護 2	20.54%	17.63%	20.36%	24.60%	24.14%	19.72%
要介護 3	2.82%	2.95%	4.49%	4.38%	4.03%	9.07%
要介護 4	5.17%	11.10%	12.81%	10.43%	9.99%	5.10%
要介護 5	3.13%	00.00%	0.34%	0.59%	0.04%	0.02%

[年間延利用者数]

	R02 年度	R01 年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度
延登録者数	689 名	1,004 名	1,072 名	1,110 名	1,175 名	1,207 名
年間利用者数	4,511 名	4,821 名	5,816 名	6,281 名	6,965 名	6,507 名
開所日数	257 日	255 日	253 日	256 日	257 日	249 日
日平均利用者数	17.55 名	18.91 名	22.99 名	24.54 名	27.10 名	26.13 名
稼働率	50.14%	54.03%	65.69%	70.11%	77.43%	74.66%
平均介護度	1.45	1.46	1.58	1.55	1.59	1.48

3. サービスの質の向上と安定経営へ向けた取り組み

(1) プログラムと行事の充実

新型コロナウイルスの影響により外出行事は全て中止したものの、創意と工夫により施設内を中心とした新たな形の行事を企画して実施してまいりました。また、身体機能の低下防止のための集団体操や館内散歩、歩行練習は、感染対策を徹底して実施致しました。

[日常動作訓練・レクリエーション実績]

内 容	実施回数	場 所	参加人数
デイルーム内お花見会	5回	デイサービスセンター内	80名
映像鑑賞会	5回	デイサービスセンター内	83名
七夕祭り	5回	デイサービスセンター内	94名
敬老会	5回	デイサービスセンター内	89名
映像鑑賞会	5回	デイサービスセンター内	98名
北デイ運動会～コロナに負けるな～	5回	市総合保健福祉センター交流活動室	87名
クリスマス会	5回	デイサービスセンター内	87名
新年会	5回	デイサービスセンター内	84名
握り寿司昼食会	5回	デイサービスセンター内	84名
映像鑑賞会	5回	デイサービスセンター内	91名

(2) 計画的な職員研修

職員研修計画に基づき、定期的な内部研修の実施の他、外部研修（オンライン研修等）への参加により職員の資質向上に努めました。

[職員研修実績]

研修等名称	種別	参加人数	研修等名称	種別	参加人数
救急車の呼び方、傷手当の新常識や湿潤療法について	内部	10名	通所介護計画書について	内部	9名
「かくれ脱水」に要注意	内部	9名	接遇について	内部	10名
誤嚥について	内部	9名	介護における声かけについて	内部	9名
インフルエンザコロナウイルス感染症、症状の違いや予防について	内部	9名	介護職でよくある人間関係の悩みと改善するためにできること	内部	8名
発熱者が出た場合の対応について	内部	11名	傾眠傾向とは？	内部	9名
介護報酬改定（オンライン）	外部	2名	2021年介護保険法改正・介護報酬改定の準備対策（オンライン）	外部	1名
コロナ禍における介護保険事業経営について（オンライン）	外部	1名	新型コロナウイルス感染対策（石狩病院）	外部	1名

(3) 安定経営へ向けての積極的な取り組み

介護保険制度改正の影響等を調査し、新加算の算定に向けたオンライン研修会に参加して、算定に向けた準備をすすめました。

【IV-2 石狩市花川南老人デイサービスセンター】

1. 事業所概要

- (1) 指定通所介護事業所・石狩市通所介護相当サービス事業所（定員 35 名）
- (2) 基準該当生活介護事業所（身体障害者デイサービス）（定員 5 名）
- (3) サービス提供時間（基本） 9 時 15 分～16 時 30 分（7 時間 15 分）

2. 事業実施状況

要介護（要支援等）高齢者に、ケアプラン並びに通所介護計画に基づき、送迎、入浴、食事、機能訓練、余暇活動などの各種サービスを提供し、社会的孤立感の解消や心身機能の維持向上を図りました。また、新型コロナウイルス感染対策のため、「マスクの着用」「手洗いと手指消毒」、「利用

者と利用者との距離を確保する」などの他、1日の利用者数を利用定員より少ない数に限定するなど徹底に勤めました。

[介護度別延利用者数]

要介護度	R02 年度	R01 年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度
事業対象	20.37%	17.55%	17.20%	8.13%	—	—
要支援 1	00.00%	00.00%	00.00%	2.74%	6.34%	10.37%
要支援 2	00.00%	00.00%	00.00%	5.00%	13.37%	16.81%
要介護 1	42.64%	50.02%	53.50%	47.41%	44.87%	44.46%
要介護 2	19.41%	15.54%	15.20%	17.46%	16.61%	12.95%
要介護 3	9.58%	4.74%	1.29%	2.95%	3.76%	3.62%
要介護 4	2.14%	6.08%	8.86%	7.47%	8.08%	4.71%
要介護 5	3.64%	3.62%	0.81%	4.41%	2.24%	2.13%
障害デイ	2.22%	2.45%	3.14%	4.43%	4.73%	4.94%

[年間延利用者数] ※ 平均介護度は障害デイを除く

	R02 年度	R01 年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度
延登録者数	903 名	877 名	1,012 名	1,133 名	1,107 名	1,028 名
年間利用者数	6,024 名	5,988 名	7,296 名	7,760 名	7,508 名	7,512 名
開所日数	252 日	255 日	253 日	256 日	257 日	249 日
日平均利用者数	23.90 名	23.48 名	28.84 名	30.31 名	29.21 名	30.17 名
稼働率	59.75%	58.70%	72.10%	75.78%	73.03%	86.20%
平均介護度	1.45	1.48	1.38	1.56	1.56	1.38

3. サービスの質の向上と安定経営へ向けた取り組み

(1) プログラムと行事の充実

新型コロナウイルスの影響により外出行事は全て中止したものの、創意と工夫により施設内を中心とした新たな形の行事を企画して実施してまいりました。また、身体機能の低下防止のための集団体操や館内散歩、歩行練習は、感染対策を徹底して実施致しました。

[日常動作訓練・レクリエーション実績]

内 容	実施回数	場 所	参加人数
DVD 鑑賞	5 回	デイサービスセンター内	119 名
運動会	5 回	デイサービスセンター内	108 名
夏祭り	5 回	デイサービスセンター内	120 名
敬老会	5 回	デイサービスセンター内	121 名
出前食事会	11 回	デイサービスセンター内	52 名
クリスマス忘年会	5 回	デイサービスセンター内	106 名
ひな祭り（新年会を含む）	5 回	デイサービスセンター内	106 名

(2) 計画的な職員研修

職員研修計画に基づき、定期的な内部研修の実施の他、外部研修（オンライン研修等）への参加により職員の資質向上に努めました。

[職員研修実績]

研修等名称	種別	参加人数	研修等名称	種別	参加人数
感染症について	内部	16名	新型コロナウイルス感染対策（石狩病院）	外部	2名
介護事故防止について	内部	16名	甲種防火管理者新規講習	外部	1名
緊急時の対応について	内部	16名	令和3年度介護報酬改定の詳細と事前対策（オンライン）	外部	1名
ボディメカニクスによる介護技術	内部	13名	介護報酬改定（オンライン）	外部	2名
認知症介護について	内部	17名	科学的介護情報システム「LIFE」動画解説	外部	2名
高齢者虐待防止・身体拘束について	内部	15名			
非常災害対策について	内部	17名			
感染症について	内部	17名			
気づきについて	内部	16名			
プライバシーの保護について	内部	17名			
自立支援・機能訓練について	内部	16名			
倫理・コンプライアンスについて	内部	15名			

(3) 安定経営へ向けての積極的な取り組み

介護保険制度改正の影響等を調査し、新加算の算定に向けたオンライン研修会に参加して、算定に向けた準備をすすめました。

【IV-3 ケアプランセンター社協いしかり】

1. 事業所概要

(1) 指定居宅介護支援事業所

(2) 職員配置 専任2名（主任介護支援専門員1名・介護支援専門員1名）

2. 事業実施状況

介護保険法を順守し、利用者の自立支援に向けたサービス調整を行い利用者本位のケアプラン作成に努めました。また、新型コロナウイルス感染予防のため、マスクの着用その他、手指消毒するなど感染対策の徹底にも勤めてまいりました。

[介護度別延利用者数]

要介護度	R02年度	R01年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
事業対象	1.39%	1.43%	1.59%	—	—	—
要支援1	7.29%	7.13%	5.13%	2.35%	0.11%	0.00%
要支援2	10.53%	8.56%	3.08%	0.94%	0.92%	3.20%
要介護1	40.63%	40.43%	49.42%	44.28%	46.18%	45.70%
要介護2	24.88%	26.40%	21.53%	28.15%	25.81%	29.40%

要介護度	R02 年度	R01 年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度
要介護 3	6.37%	5.00%	7.52%	12.72%	16.08%	19.45%
要介護 4	3.70%	7.13%	5.58%	6.83%	6.13%	2.17%
要介護 5	5.21%	3.92%	6.15%	4.71%	4.74%	3.31%

[年間給付管理実績]

	R02 年度	R01 年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度
総 件 数	864 件	841 件	878 件	849 件	855 件	874 件
一名担当数	36.00 名	35.04 名	36.58 名	35.37 名	35.6 名	36.4 名

【IV-4 介護認定訪問調査事業（石狩市受託）】

1. 事業所概要

- (1) 指定市町村事務受託法人
- (2) 職員配置 介護支援専門員 4 名

2. 事業実施状況

要介護度等を決定する判断材料となる訪問調査を市の委託事業として実施しました。また、新型コロナウイルス感染予防のため、マスクの着用の他、調査前後に手指消毒するなど感染対策の徹底にも勤めてまいりました。

[介護認定訪問調査実績]

	令和 02 年度	令和 01 年度	対前年比
石狩市調査受託（依頼数）	1,469 件	2,360 件	62.2%
特別養護老人ホーム	14 件	94 件	14.9%
老人保健施設	42 件	72 件	58.3%
介護療養型医療施設	6 件	15 件	40.0%
その他の医療機関等	326 件	371 件	87.9%
在宅	1,081 件	1,421 件	76.1%
他市町村調査受託	56 件	51 件	109.8%
調査実数合計（中止等は除く）	1,525 件	2,411 件	63.3%
調査員一人当たりの一日調査件数	1.56 件	2.51 件	62.2%

V 令和2年度個別事業報告（厚田支所）

1. 社協支所機能の充実

- (1) 地域にある身近な社協窓口としての機能強化をはかり、それぞれの地域事情、地域特性に応じた、安心・安全・福祉のまちづくりの前線基地として機能確保に努めました。
特に、支所における福祉団体事務の取扱いについては、地域の実情に起因する課題が多くあり、今後の支所の役割についての課題を見出すことができました。
また、権利擁護事業にあたっては支所長が後見支援員となり円滑な事業推進に努めました。
- (2) 厚田区地域包括支援センターに配置された第二層（生活圏域）生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）と連携を密にはかり、事業の参加協力に努めました。
- (3) 石狩市道の駅「厚田あいろーど」での街頭募金の実施、募金グッズ（ピンバッジ）販売機設置等広報活動の積極的な活用に努めました。
- (4) 厚田区地域協議会の下部組織として発足した、厚田区地域交通サービス検討委員会に参加し公共交通機関との合意形成や既存の移動に係る社会資源の活用を踏まえながら、新たな移動支援の仕組みの検討に参画し、情報交換、地域の声の反映に努めました。

2. 関係団体事務局の支援

関係福祉団体事務局について、厚田区の関係者等の活動支援に努めました。

◆ 厚田地区民生委員児童委員協議会

◆ 厚田区内単位高齢者クラブ（虹寿会・望来名木会・聚富高齢者クラブ長生会・厚田さざなみ会）

1. 社協支所機能の充実

(1) 地域にある身近な社協窓口としての機能強化をはかり、それぞれの地域事情、地域特性に応じた、安心・安全・福祉のまちづくりの前線基地として機能確保に努めました。特に、支所における福祉団体事務の取扱いについては、地域の実情に起因する課題が多くあり、今後の支所の役割についての課題を見出すことができました。

また、権利擁護事業にあたっては支所長が後見支援員となり円滑な事業推進に努めました。

(2) 浜益区地域包括支援センターに配置された第二層（生活圏域）生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）と連携を密にはかり、事業の参加協力に努めました。

(3) 石狩市より受託する社会福祉施設等の連絡調整機能の充実に努めました。

- ◆ 石狩市高齢者生活福祉センター
- ◆ 石狩市特別養護老人ホームはまますあいどまり
- ◆ 石狩市認知症高齢者グループホームはまますなごみ
- ◆ 石狩市シルバーホームはまなか荘
- ◆ 石狩市浜益保養センター

2. 関係団体事務局の支援

関係福祉団体事務局について、浜益区の関係者等の活動支援に努めました。

- ◆ 浜益遺族会
- ◆ 浜益地区民生委員児童委員協議会
- ◆ 浜益高齢者連合クラブ

3. 外国人介護人材受入に関する協力支援

特別養護老人ホームはまますあいどまり並びに認知症高齢者グループホームはまますなごみにそれぞれ採用した、外国人技能実習生（インドネシア）の側面的な生活支援に努めました。

4. 浜益保養センター

(1) 事業の健全な受託運営及び自主事業の経営安定化

石狩市の市営施設として「石狩市浜益保養センター条例」に沿って正確、確実に受託業務を遂行することに努めるとともに、売店コーナー、軽食コーナーの経営にあたっては、販売品目並びに販売価格を整理し、業務を効率化し、労働力不足の解消や、適切な人員配置に努め、固定費・流動費の抑制に努めました。しかしながら、コロナ対応として、軽食コーナーは、一時的な営業休止として状況を見守ってきましたが、結果として年間休止と相成り、残念な結果となりました。

また、新型コロナウイルス感染症及び施設修繕等に係る臨時休館について、石狩市高齢者支援課と連携のもと、その周知と対応に努めました。

[浜益保養センター利用等実績]

月	保養センター入館者（人）			軽食コーナー売上高（円）			売店コーナー売上高（円）		
	R02年度	R01年度	対前年比	R02年度	R01年度	対前年比	R02年度	R01年度	対前年比
4	1,975	3,556	55.5%		93,250		110,905	180,160	61.6%
5	581	6,212	9.4%		714,700		10,756	541,490	2.0%
6	3,507	4,195	83.6%		404,450		142,640	430,780	33.1%
7	4,685	6,440	72.7%	10,250	514,800	2.0%	267,330	523,630	51.1%
8	6,855	8,135	84.3%		347,750		167,391	580,110	28.9%
9	4,719	4,994	94.5%		336,300		355,100	572,943	62.0%
10	3,632	3,793	95.8%		300,400		175,014	306,100	57.2%
11	2,154	2,191	98.3%		65,332		43,201	219,490	19.7%
12	1,606	1,836	87.5%				39,108	108,820	35.9%
1	1,595	2,157	73.9%				23,087	143,520	16.1%
2	788	1,896	41.6%				20,946	106,460	19.7%
3	2,009	1	200.9%		58,500		32,927	67,170	49.0%
計	34,106	45,406	75.1%	10,250	2,835,482	0.3%	1,388,405	3,780,673	36.7%

※ 軽食コーナー売上高はアルコール飲料の自動販売機売上を含む

(2) サービス面の強化に向けた取り組み

お客様にまた行ってみたいと思っただけの好感度、満足度の向上を目標にホスピタリティの充実に努めました。

(3) 効果的な営業・企画・広報活動

地域資源、立地状況を捉え効率的、かつ効果が期待できる営業・企画・広報活動を展開し、優待料金に頼らない新しい魅力の創出活動、発信の工夫を図りました。

特に、市外からの来客への情報発信は、SNS（ツイッター）を活用し、浜益地区で行われるイベントや日頃の温泉の様子等、タイムリーな発信に努めました。

◆ ツイッター情報発信数 1,667件

Ⅶ 令和2年度個別事業報告（高齢者生活福祉センター）

1. 事業所概要

- (1) 地域密着型指定通所介護事業所・石狩市通所介護相当サービス事業所（定員 15 名）
- (2) 指定訪問介護事業所・石狩市訪問介護相当サービス事業所
- (3) 居住サービスセンター（定員 8 名）
- (4) サービス提供時間（通所） 10 時 00 分～16 時 00 分（6 時間 00 分）

2. 事業実施状況

- (1) はまますデイサービスセンター

要介護（要支援）高齢者に、ケアプラン並びに通所介護計画に基づき、送迎、入浴、食事、機能訓練、余暇活動などの各種サービスを提供し、社会的孤立感の解消や心身機能の維持向上を図るとともに、利用者を取り巻く家族や地域に目を向け家族の身体的・精神的な負担軽減に心がけ事業を実施しました。

[介護度別延利用者数]

要介護度	R02 年度	R01 年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度
事業対象	37.91%	35.89%	30.70%	15.24%	—	—
要支援 1	00.00%	0.00%	0.00%	4.12%	6.17%	12.18%
要支援 2	00.00%	0.00%	0.00%	6.54%	26.40%	26.36%
要介護 1	31.34%	26.01%	41.84%	49.20%	45.31%	47.95%
要介護 2	12.14%	19.91%	5.83%	7.35%	10.07%	7.14%
要介護 3	16.90%	15.59%	12.27%	9.02%	9.04%	4.28%
要介護 4	1.71%	2.60%	9.36%	8.53%	2.94%	2.09%
要介護 5	00.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.07%	0.00%

[年間延利用者数] ※ 平均介護度は障害デイを除く

	R02 年度	R01 年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度
延登録者数	497 名	517 名	547 名	534 名	574 名	607 名
年間利用者数	1,994 名	2,572 名	2,811 名	2,815 名	2,920 名	2,872 名
開所日数	242 日	240 日	241 日	242 日	243 日	243 日
日平均利用者数	8.24 名	10.72 名	11.66 名	11.63 名	12.02 名	11.82 名
稼働率	54.93%	71.44%	77.76%	77.55%	80.11%	78.79%
平均介護度	1.27	1.44	1.46	1.41	1.16	1.09

- (2) 訪問介護事業所はまます

要介護（要支援）高齢者に、ケアプラン並びに訪問介護計画に基づき、一人ひとりの身体状況に応じた身体介護並びに家事援助サービスを提供しました。また、研修やケース検討会の充実を図り、情報共有に努めました。

[介護度別延利用者数]

要介護度	R02 年度	R01 年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度
事業対象	40.31%	41.72%	38.68%	12.77%	—	—
要支援 1	00.00%	0.00%	0.00%	6.05%	5.74%	1.20%
要支援 2	00.00%	0.00%	0.00%	0.40%	19.20%	31.88%
要介護 1	12.97%	52.39%	44.42%	70.97%	68.39%	64.78%
要介護 2	29.06%	3.50%	0.11%	4.43%	6.67%	1.95%
要介護 3	12.34%	0.00%	4.04%	0.00%	0.00%	0.00%
要介護 4	5.31%	2.39%	12.75%	5.38%	0.00%	0.19%
要介護 5	00.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

[年間延利用者数]

	R02 年度	R01 年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度
延登録者数	137 名	137 名	157 名	129 名	162 名	180 名
年間利用者数	640 名	628 名	941 名	744 名	870 名	1,076 名
開所日数	242 日	240 日	243 日	242 日	243 日	243 日
日平均利用者数	2.65 名	2.62 名	3.87 名	3.07 名	3.58 名	4.43 名
平均介護度	1.45	0.97	1.34	1.12	0.95	1.04

(3) 居住サービスセンター

- ① 静かな居住環境の中で、共同生活によるコミュニティの形成を図りながら、生きる喜びを感じ、安心して真に自立した生活のできるサービスの提供に努めました。
- ② 入居者は、全員単身者であります。ほとんどが地元出身であり、家族や地域の方々との交流の機会を設けることに努め、さみしさを訴えるかたはおりませんでした。
- ③ 交通、医療機関の不便等、万が一の時の不安を抱えながら過ごしているのが実情であり、朝夕の安否確認をはじめ、配食サービス等の利用により、市地域包括支援センターと連携し、入居者の支援を行いました。

[施設入居者実績]

	R02 年度	R01 年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度
延入居者数	91 名	90 名	93 名	92 名	94 名	95 名
日平均入居者数	7.54 名	7.49 名	7.76 名	7.67 名	7.83 名	7.92 名
居室稼働率	94.21%	93.65%	97.02%	95.83%	97.92%	98.94%

3. サービスの質の向上と安定経営へ向けた取り組み

(1) 情報の発信と地域連携の強化

地域との積極的な連携と情報の発信や意見交換をおこない、事業所運営に地域からの協力理解に努めながら、地域で求められるサービスの提供に努めました。

(2) プログラムと行事の充実

全員参加型の体操、利用者選択式の運動やレクリエーション、手工芸を取り入れ利用者が楽しいと感じながら、身体機能低下の予防に繋がるプログラムの提供のほか、季節感のある外出行事

等、デイサービスの利用を楽しいと感じていただける行事を実施するとともに、対人関係づくりの場の充実に努めました。

[日常動作訓練・レクリエーション実績]

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外出自粛等により行事休止（代替）

内 容	実施回数	場 所	参加人数
お花見ドライブ	2週間	※折紙で桜の壁画作成しホールに展示・写真撮影	24名
野外ジギスカン	2週間	※折紙で紫陽花の壁画作成とホールに展示・写真撮影	24名
さくらんぼ狩り	4回	※サランボ狩りゲーム・おやつにサランボ・写真撮影	34名
スイカ割り	4回	デイサービスセンター	34名
敬老会（式典のみ実施）	4回	デイサービスセンター（対象者へ記念品贈呈）	35名
区内食堂ツアー		中止	
生きがいづくり学園卒園式		中止	
クリスマス会	4回	デイサービスセンター	36名
百人一首	3回	デイサービスセンター	19名
節分	2回	デイサービスセンター	15名
ひな祭り桜餅づくり	3回	桜餅作り中止（※ホールで雛祭りゲーム・写真撮影）	25名

(3) 計画的な職員研修

職員研修計画に基づき、定期的な内部研修の実施の他、外部研修等への参加により職員の資質向上に努めました。

[職員研修実績]

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外部研修自粛

研修等名称	種別	参加人数	備 考
新型コロナ感染症対策研修	内部	19名	2回

(4) 浜益区福祉施設等プロジェクトチーム

地域の限られた人材の効率的、効果的活用並びに福祉サービス提供の安定を目指し、浜益区福祉施設等プロジェクトチームにおいて、浜益区における福祉サービスの将来像並びに人材不足の課題等について協議を行いました。

VIII 令和2年度個別事業報告（浜益ふくしの里）

1. 施設等概要

- (1) 石狩市特別養護老人ホームはまますあいどまり
- ① 種別 地域密着型老人福祉施設・短期入所生活介護（介護予防）
 - ② 定員 23名（地域密着型老人福祉施設20名・短期入所生活介護（介護予防）3名）
- (2) 石狩市認知症高齢者グループホームはまますなごみ
- ① 種別 認知症対応型共同生活介護（介護予防）
 - ② 定員 7名
- (3) 石狩市シルバーホームはまなか荘
- ① 種別 居住サービス
 - ② 定員 8名

2. 事業実施状況

- (1) 特別養護老人ホームはまますあいどまり
- ① 介護部門は、サービスの質の向上と利用者の自己決定を尊重出来るような生活支援を行いました。コロナ禍の影響もあり、クラスター感染防止の為に大部分の計画していた行事が中止となりました。
 - ② 相談（介護支援相談員）部門は、利用者・家族・地域関係機関との連携を密にし個々のニーズに対応できるケアプラン作成に心がけ、より高い専門性を持って適切なサービスの提供に努めました。
 - ③ 看護部門は、他職種との連携を深めながら利用者の生活空間の中で、個々の健康状態を把握し疾病予防を行いました。
 - ④ 栄養部門は、家庭的な雰囲気の中で個々の嗜好に配慮し、食べることの喜びや楽しさを味わってもらえるような食事の提供に努めました。
 - ⑤ 短期入所生活介護（ショートステイ）部門は、コロナ禍の影響がありましたが、サービスが滞ることなく、地域の高齢者やその家族が安心して生活できるよう、関係機関と連携し、ニーズに応じたサービスの提供に努めました。

[地域密着型老人福祉施設・介護度別利用者割合]

要介護度	R02年度	R01年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
要介護1	00.00%	1.22%	00.00%	0.00%	0.00%	0.11%
要介護2	11.70%	11.50%	11.28%	6.40%	15.26%	24.83%
要介護3	36.92%	42.60%	40.15%	38.26%	24.65%	21.75%
要介護4	30.22%	27.53%	30.82%	34.80%	57.43%	34.19%
要介護5	21.16%	17.15%	17.75%	20.54%	22.66%	18.40%

[地域密着型老人福祉施設・年間延利用者数]

	R02年度	R01年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
年間利用者数	6,834名	6,582名	6,456名	6,820名	6,804名	7,260名
開所日数	365日	366日	365日	365日	365日	366日

	R02 年度	R01 年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度
日平均利用者数	18.42 名	17.98 名	17.69 名	18.70 名	18.64 名	19.68 名
稼 動 率	93.61%	89.91%	88.43%	93.42%	93.21%	98.44%
平均介護度	3.70	3.48	3.05	3.45	3.68	3.43

[短期入所生活介護（予防）・介護度別利用者割合]

要介護度	R02 年度	R01 年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度
要支援 1	00.00%	0.33%	0.32%	0.00%	0.58%	0.00%
要支援 2	00.00%	37.95%	8.29%	3.48%	2.61%	9.06%
要介護 1	38.26%	17.59%	32.01%	35.56%	38.45%	49.16%
要介護 2	13.87%	18.57%	39.56%	47.93%	26.67%	41.78%
要介護 3	45.43%	25.24%	19.82%	9.19%	30.43%	0.00%
要介護 4	2.44%	0.33%	00.00%	3.85%	1.84%	0.00%
要介護 5	00.00%	00.00%	00.00%	0.00%	0.00%	0.00%

[短期入所生活介護（予防）・年間延利用者数]

	R02 年度	R01 年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度
年間利用者数	656 名	614 名	1,231 名	1,350 名	1,035 名	651 名
開 所 日 数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日	366 日
日平均利用者数	1.80 名	1.68 名	3.37 名	3.70 名	2.84 名	1.77 名
稼 動 率	59.90%	55.9%	112.42%	123.29%	94.52%	59.2%
平均介護度	2.25	1.51	1.79	1.74	1.92	1.37

(2) 認知症高齢者グループホームはまますなごみ

認知症に伴う症状を職員が理解し、その方らしく、自由にゆったりと過ごしていただけるよう、また、入所者がお互いに助け合い、可能な限り自立生活に向けた支援を行いました。また、認知症を患う利用者の特性を理解し、良質なサービスを提供できるよう専門スタッフとしての自覚を持ったサービスの提供に努めました。コロナ禍の影響もあり、クラスター感染防止の為大部分の計画していた行事が中止となりました。

[介護度別利用者割合]

要介護度	R02 年度	R01 年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度
要支援 1	00.00%	00.00%	00.00%	0.00%	39.29%	32.79%
要支援 2	00.00%	10.32%	15.05%	4.96%	14.29%	14.36%
要介護 1	32.16%	31.90%	15.25%	27.31%	10.75%	13.25%
要介護 2	38.90%	7.91%	15.05%	17.92%	21.35%	17.25%
要介護 3	11.98%	16.41%	19.37%	13.28%	14.32%	22.35%
要介護 4	16.99%	32.11%	29.60%	21.73%	39.29%	32.79%
要介護 5	8.47%	1.35%	5.69%	14.80%	14.29%	14.36%

[認知症対応型共同生活介護・年間延利用者数]

	R02 年度	R01 年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度
年間利用者数	2,478 名	2,364 名	2,426 名	2,439 名	2,548 名	2,528 名
開所日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日	366 日
日平均利用者数	6.79 名	6.45 名	6.65 名	6.68 名	6.98 名	6.98 名
稼働率	97.00%	92.27%	94.95%	90.72%	99.73%	98.9%
平均介護度	2.18	2.37	2.65	2.52	2.57	2.82

(3) シルバーホームはまなか荘

- ① 共同生活によるコミュニティの形成を図り、居宅環境において生活することの生きがいを求める施設づくりに努めました。
- ② 在宅生活において、緊急に保護が必要な方等の受入態勢を確保し地域包括支援センター等と密な情報交換のもと速やかな対応に努めました。
- ③ 住みなれた地域を感じることができるよう、地元食材を使用した温かな食事の提供に努めました。

[施設入居者実績]

	R01 年度	R01 年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度
延入居者数	92 名	80 名	83 名	91 名	96 名	96 名
日平均入居者数	7.67 名	6.66 名	6.91 名	7.58 名	8.00 名	8.00 名
居室稼働率	95.83%	83.33%	86.45%	94.79%	100.00%	100.00%

3. サービスの質の向上と安定経営へ向けた取り組み

(1) 施設情報の発信と地域連携の強化

地域で求められる施設像に応えることができる施設づくりに努め、地域との共同行事に取り組みました。

[特別養護老人ホームはまますあいどまり 日常動作訓練・レクリエーション実績]

内 容	実施回数	場 所	参加人数
花見	1 回	ふくしの里広場	21 名
七夕	1 回	食堂	21 名
ふくしの里敬老会(昼食会)	1 回	食堂	23 名
十五夜	1 回	食堂・居室	23 名
寿司昼食会	1 回	多目的ホール	21 名
クリスマス会(昼食会)	1 回	多目的ホール	19 名
元旦	1 回	食堂・居室	17 名
節分豆まき	1 回	食堂・居室	19 名
ひな祭り	1 回	食堂・居室	21 名
プランター植樹	1 回	ふくしの里広場	5 名
誕生会	5 回	食堂	103 名
おやつ作り	3 回	食堂	41 名

内 容	実施回数	場 所	参加人数
書道倶楽部	4回	食堂	53名
美術クラブ	1回	食堂	14名
マスク制作	2回	食堂	11名
ハロウィンパーティー	1回	食堂	20名
漬物作り	2回	食堂	20名
小学校学芸会総練習見学	1回	浜益小学校	2名
繭玉作り	1回	食堂	14名
青空体操	5回	ふくしの里広場	53人

[認知症高齢者グループホームはまますなごみ 日常動作訓練・レクリエーション実績]

内 容	実施回数	場 所	参加人数
プランター植樹	1回	ふくしの里広場	5名
青空体操	5回	ふくしの里広場	25名
ふくしの里敬老会(昼食会)	1回	なごみホール	7名
寿司昼食会	1回	なごみホール	7名
クリスマス会(昼食会)	1回	なごみホール	7名
節分豆まき	1回	なごみホール	7名

(2) 計画的な職員研修

職員研修計画に基づき、コロナ禍の中で、オンライン研修を中心とした内部研修を行うことで職員の資質向上に努めました。

[特別養護老人ホームはまますあいどまり 職員研修実績]

研修等名称	種別	参加人数	研修等名称	種別	参加人数
身体拘束廃止施設内研修	内部研修	17名	高齢者の身体的特徴と疾患の理解	オンライン 内部	10名
認知症の理解	オンライン 内部	7名	高齢者の感染予防・発生時の対応方法	オンライン 内部	12名
介護従事者ができる薬剤管理	オンライン 内部	12名	感染予防に配慮した排泄ケア	オンライン	1名
介護報酬改定セミナー	オンライン	2名	介護経営セミナー	オンライン	1名

[認知症高齢者グループホームはまますなごみ 職員研修実績]

研修等名称	種別	参加人数	研修等名称	種別	参加人数
身体拘束廃止施設内研修	内部研修	4名	高齢者の身体的特徴と疾患の理解	オンライン 内部	4名
認知症の理解	オンライン 内部	4名	高齢者の感染予防・発生時の対応方法	オンライン 内部	3名
介護従事者ができる薬剤管理	オンライン 内部	3名	アンガーマネジメント	外部研修	2名

(3) 浜益区福祉施設等プロジェクトチーム

介護サービスの重要性が更に高まる中、特に生産人口年齢の減少による労働力不足においては、働き方改革のもと募集要綱の内容に変更を加え、労働力の確保に努めましたが、課題解決の解消には至りませんでした。

5. 外国人介護人材（技能実習）の受け入れプロジェクト

（1）外国人介護人材受け入れに係る対応

コロナ禍の影響の為、地域等への広報活動が出来ず、また積極的な地域行事への参加や交流機会が中止となり、当初計画していたプロジェクトの遂行が出来ず不本意な形となりましたが、確実に語学レベル・コミュニケーション能力向上や生活習慣の適応等、適切な労働環境の維持及び生活環境の確保に努めました。

（2）介護技能の取得に向けた支援

三年間の実習計画に基づいた指導体制を事業所ごとに提供し、日本の高齢者福祉への理解及び介護技術を学ぶ事ができるよう努めました。加えて、介護業務だけでなく日本語能力の更なるレベル向上の為、今年度の日本語能力試験に向け勉強のサポートを行いました。